

鳥取県がん検診実績報告書

平成14年 3月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

は じ め に

がん検診の精度向上を一層高めるため、平成6年度に「がん検診精度確保事業」が開始されました。その事業の一環として各がん検診に関する全ての記録を一括してまとめ、鳥取県におけるがん検診の実態を総括する意味で平成7年3月に第1報を発刊いたしました。今回は第8報となります。

平成10年度からはがん検診事業費が一般財源化され、市町村の自主判断に委ねられたことにより受診率が減少傾向にあることなど、時代の推移にともなっているいろいろな事態が発生しました。こうした状況を、各がん対策専門委員会において分析し、検討されているところであります。

しかし一方、他県に先駆け、平成7年度からは肝臓がん検診の実施、平成12年9月からは胃がん一次検診における内視鏡検査の導入、講習会の強化、登録条件の見直しなど、鳥取県独自の方式により質的向上が図られつつあると共に、鳥取県母子保健対策協議会の設置に伴う母子保健推進体制の整備、平成13年度からのアレルギー対策事業の導入など、新しい時代にむけての新たな取り組みをおこなっております。

また、厚生労働省は平成14年度より基本健康診査への肝炎ウイルス検査を導入することとしました。鳥取県は従来のがん検診及び陽性者へのフォローアップ事業を継続し、新規事業と併せて行っていくこととなりました。

昭和46年1月、県民の健康保持増進に寄与することを目的に設立されました「鳥取県健康対策協議会」は平成13年1月を以って30周年を迎えました。

この30周年を契機として、今後益々激しく変貌していくことが予想される健康や環境の問題に素早く対処し、地域住民の「健康で心豊かな生活」のために努力して行きたいと存じます。

本書は不備な点もあるかと思いますが、精度管理向上の一助となれば幸いです。

平成14年3月

鳥取県健康対策協議会

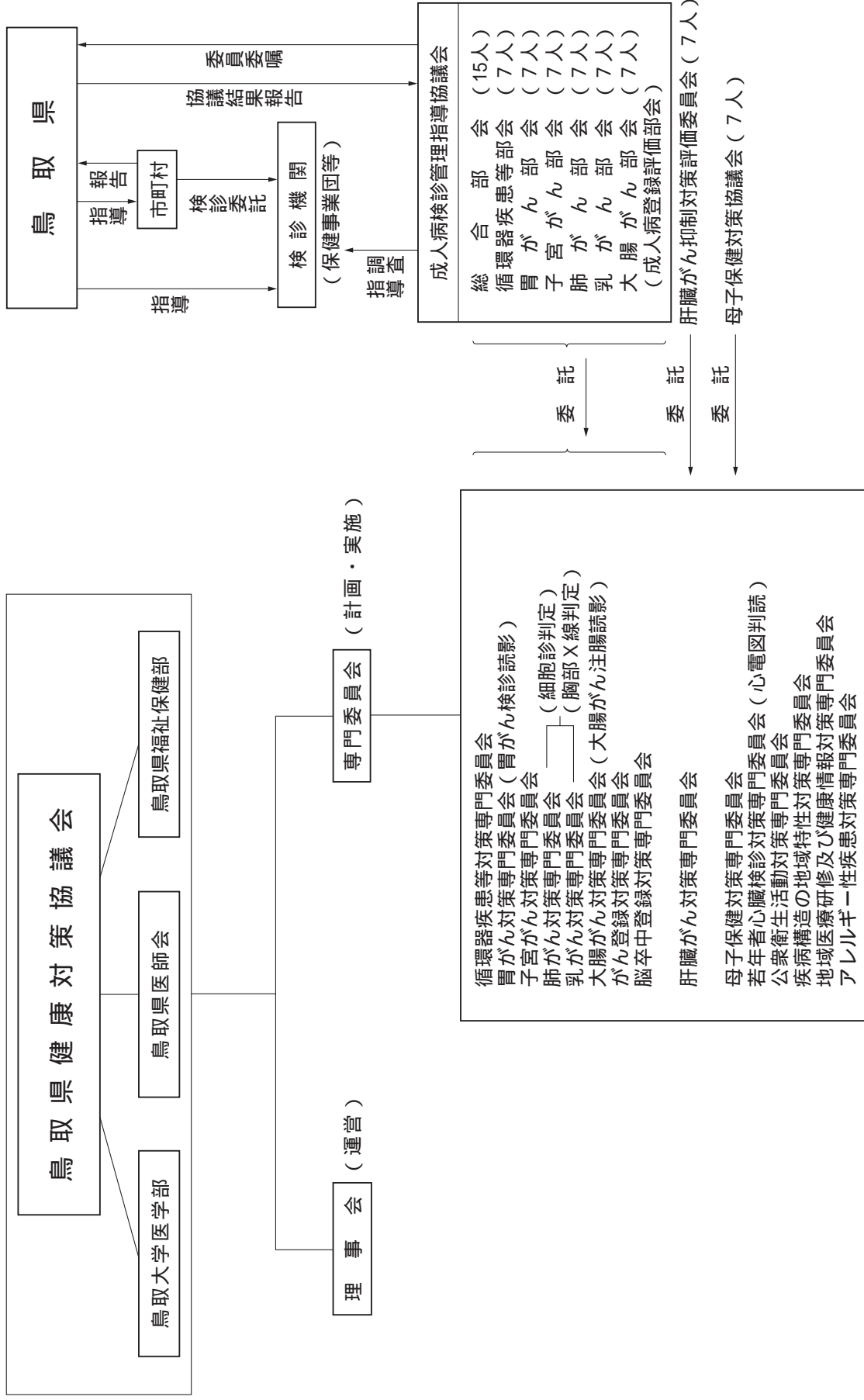
会 長 長 田 昭 夫

目 次

・鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図.....	1
・平成12年度各がん検診事業実績	
1．胃がん検診.....	3
2．子宮がん検診.....	13
3．肺がん検診.....	21
4．乳がん検診.....	32
5．大腸がん検診.....	38
6．肝臓がん検診.....	46
7．全国がん検診実績との比較.....	54
・平成13年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況	
1．胃がん検診症例研究会報告.....	58
2．子宮がん検診症例研究会報告.....	60
3．肺がん検診症例研究会報告.....	61
4．乳がん検診症例研究会報告.....	63
5．大腸がん検診症例研究会報告.....	65
6．肝臓がん検診症例研究会報告.....	66
7．各地区がん検診症例検討会開催状況.....	68
・各がん検診精密検査医療機関登録について.....	69

鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図

(昭和46年 1月26日発足)



・平成12年度各がん検診事業実績

1 . 胃 が ん 検 診

1 . 胃がん検診実績

対象者数（40歳以上のうち職域等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は172,825人で、このうち受診者数はX線検査36,706人、平成12年度より導入した内視鏡検査は3,651人で合計40,357人であった。受診率は23.4%であった。平成11年度より受診者数は574人増加し、受診率は0.5ポイント増加した。

検査の結果、胃がんまたは胃がん疑いであった者は87人発見され（X線検査64人、内視鏡検査23人）がん発見率は0.22%で前年度より0.01ポイント減少した。

X線検査でのがん発見率は0.17%に対し、内視鏡検査でのがん発見率は0.63%で3.7倍も高かった。

平成12年度の全国平均は受診率13.0%、要精検率11.8%、がん発見率0.18%で、鳥取県がいずれも上回っている。

（1）X線検査は39市町村で実施され、受診者数は36,706人で、受診率は21.2%であった。

一次検診の要精検者は5,150人、要精検率は14.0%で、前年度より2.2ポイント減少した。

このうち、精密検査を受診したのは3,766人、精検受診率は73.1%で、前年度より2.6ポイントも減少した。特に病院の精検受診率が66.0%と非常に低い。

精検結果は、胃がんまたは胃がん疑いであった者は64人、胃がん発見率は0.17%であった。

依然として4市の受診率は非常に低い。特に平成10年度に70歳以上を対象者から外したため大幅に受診者数が減少した倉吉市は、平成11年度より40～69歳の自己負担額の半額で70歳以上も検診を実施することにしたが、平成9年度の受診者数の約6割しか受診しておらず、受診者数の回復はできていない状況である。

（2）内視鏡検査は平成12年9月より導入することとなり、14市町村で実施した。

受診者数は3,651人で、検査結果は胃がんまたは胃がん疑いであった者は23人が発見され、発見率は0.630%であった。

2 . 胃がん検診発見胃がん追跡調査結果

平成12年度に発見された胃がん及び胃がん疑いについて確定調査を行った結果、確定胃がんは81例（一次検査がX線検査：車検診34例、施設検診32例、一次検査内視鏡検査：15例）であった。

このうち切除例は76例（うち内視鏡切除13例を含む）で、内訳は早期がん58例（車検診24例、施設検診22例、内視鏡検査12例）、進行がん23例（車検診10例、施設検診10例、内視鏡検査3例）で、早期がん率は71.6%で、平成11年度より8.2%も高かった。

性・年齢別では、男性51例、女性30例であった。

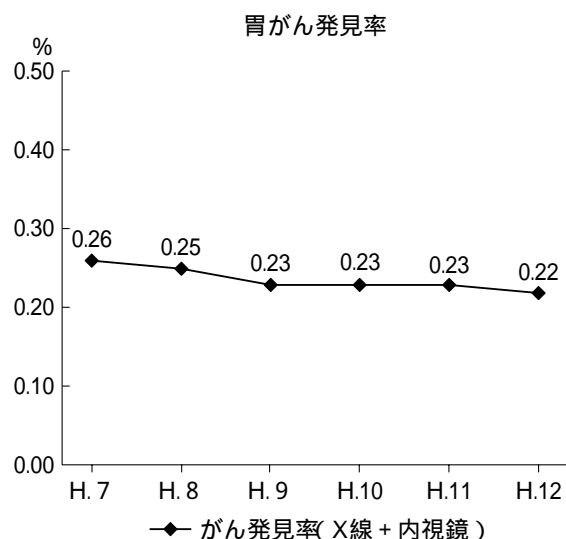
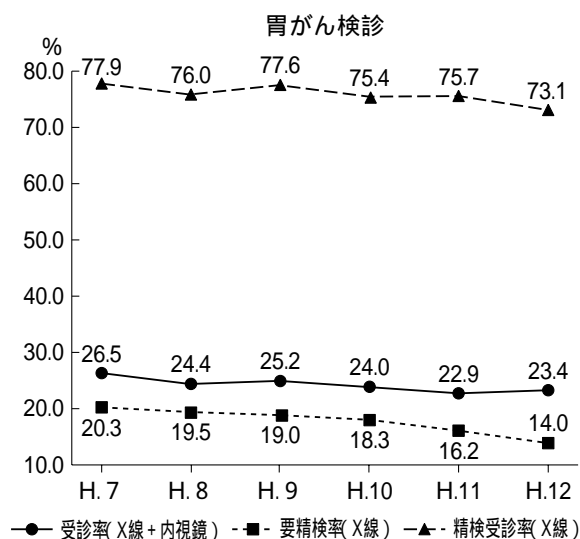
切除例の大きさは2cm以内が40.5%であった。車検診では24.2%、施設検診では55.2%、内視鏡検査では50.0%であった。

早期がん肉眼分類は「c」が58.6%を占め、進行がんの肉眼分類ではBorr型が39.1%と多かった。切除例の深達度では「t₁」が71.6%を占めた。

東部の発見がん率が0.163%と低い。これは、鳥取市の精検受診率が65.3%と低いことがその一因ではないかと思われる。鳥取市保健師さんの協力のもとに受診勧奨に努めていく必要がある。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度		
							X線	内視鏡	合計
一次検診	対象者数(人)	176,816	183,662	175,612	171,250	174,021			172,825
	受診者数(人)	46,923	44,831	44,192	41,165	39,783	36,706	3,651	40,357
	受診率(%)	26.5	24.4	25.2	24.0	22.9			23.4
一次検診結果	異常認めず(人)	37,421	36,072	35,782	33,639	33,319	31,556		
	要精検(人)	9,502	8,759	8,410	7,526	6,464	5,150		
	要精検者の割合(%)	20.3	19.5	19.0	18.3	16.2	14.0		
精密検査	受診者数(人)	7,404	6,659	6,523	5,671	4,894	3,766		
	受診率(%)	77.9	76.0	77.6	75.4	75.7	73.1		
精密検査結果	胃がん又はがんの疑いのある者(人)	121	114	103	95	90	64	23	87
	胃がん発見率(%)	0.26	0.25	0.23	0.23	0.23	0.17	0.63	0.22



(2) 平成12年度胃がんX線検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	647	1,140	112	106	535	1,034	17.3	9.3
45 ~ 49	781	1,532	143	142	638	1,390	18.3	9.3
50 ~ 54	1,072	2,527	205	239	867	2,288	19.1	9.5
55 ~ 59	918	2,617	158	244	760	2,373	17.2	9.3
60 ~ 64	1,806	4,001	336	475	1,470	3,526	18.6	11.9
65 ~ 69	2,718	4,863	498	566	2,220	4,297	18.3	11.6
70 ~ 74	2,506	4,012	472	518	2,034	3,494	18.8	12.9
75 ~ 79	1,572	2,190	292	295	1,280	1,895	18.6	13.5
80歳以上	770	1,034	166	183	604	851	21.6	17.7
計	12,790	23,916	2,382	2,768	10,408	21,148	18.6	11.6
合 計	36,706		5,150		31,556		14.0	

2) 胃がんX線検診精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数 (人)		精密検査 受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
					異常認めず		その他疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	69	79	61.6	74.5	25	30	44	47	0	0	0	2	0.000	0.175
45 ~ 49	86	110	60.1	77.5	25	41	60	69	0	0	1	0	0.128	0.000
50 ~ 54	118	177	57.6	74.1	30	70	86	107	0	0	2	0	0.187	0.000
55 ~ 59	101	181	63.9	74.2	20	60	80	121	0	0	1	0	0.109	0.000
60 ~ 64	229	355	68.2	74.7	66	129	158	224	0	1	5	1	0.277	0.050
65 ~ 69	355	440	71.3	77.7	119	143	227	291	1	0	8	6	0.331	0.123
70 ~ 74	350	406	74.2	78.4	103	128	240	272	0	0	8	6	0.319	0.150
75 ~ 79	224	235	76.7	79.7	56	69	161	161	0	0	6	5	0.382	0.228
80歳以上	117	134	70.5	73.2	27	41	86	86	0	0	4	7	0.519	0.677
計	1,649	2,117	69.2	76.5	471	711	1,142	1,378	1	1	35	27	0.281	0.117
合 計	3,766		73.1		1,182		2,520		2		62		0.174	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	7,461	13,782	1,242	1,261	6,219	12,521	16.6	9.1
中国労働衛生協会	212	321	22	33	190	288	10.4	10.3
病 院	1,644	2,943	453	568	1,191	2,375	27.6	19.3
診 療 所	3,473	6,870	665	906	2,808	5,964	19.1	13.2
計	12,790	23,916	2,382	2,768	10,408	21,148	18.6	11.6
合 計	36,706		5,150		31,556		14.0	

b. 精密検査結果

一 次 検 診 機 関	精密検査 受診者数 (人)		精密検査 受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
					異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	892	1,050	71.8	83.3	260	382	614	654	1	1	17	13	0.241	0.102
中国労働衛生協会	14	25	63.6	75.8	4	6	9	19	0	0	1	0	0.472	0.000
病 院	282	392	62.3	69.0	105	139	172	249	0	0	5	4	0.304	0.136
診 療 所	461	650	69.3	71.7	102	184	347	456	0	0	12	10	0.346	0.146
計	1,649	2,117	69.2	76.5	471	711	1,142	1,378	1	1	35	27	0.281	0.117
合 計	3,766		73.1		1,182		2,520		2		62		0.174	

4)平成12年度鳥取県胃がんX線検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		人員							
	A	車検診 施設検診 C	D = B + C	受診率 (%) E = D / A	F	G	H = F + G	I = H / D	J	K = J / H	L	M	N	O	P	Q = (N + O) / D
鳥取市	38,000	615	5,128	15.1	61	928	989	17.2	646	65.3	197	438	0	11	449	0.192
米子市	39,095	911	4,951	15.0	104	839	943	16.1	686	72.7	172	500	0	14	514	0.239
倉吉市	11,644	1,401	282	14.5	201	79	280	16.6	223	79.6	83	136	1	3	140	0.238
境港市	11,451	134	1,462	13.9	16	216	232	14.5	195	84.1	38	152	0	5	157	0.313
国府町	1,263	588	73	52.3	67	26	93	14.1	78	83.9	27	51	0	0	51	0.000
岩美町	3,051	849	180	33.7	90	48	138	13.4	90	65.2	34	54	0	2	56	0.194
福部村	890	135	171	34.4	11	23	34	11.1	22	64.7	12	9	0	1	10	0.327
都家町	1,883	774	98	46.3	82	15	97	11.1	69	71.1	23	46	0	0	46	0.000
船岡町	1,607	509	31.7	31.7	39	60	126	7.7	29	74.4	13	14	0	2	16	0.393
河原町	3,328	459	244	21.1	66	60	126	17.9	76	60.3	20	54	0	2	56	0.284
八東町	1,798	625	625	34.8	66	66	66	10.6	53	80.3	16	36	0	1	37	0.160
若桜町	1,479	444	444	30.0	29	29	29	6.5	24	82.8	7	17	0	0	17	0.000
用瀬町	1,808	368	22	21.6	21	3	24	6.2	20	83.3	6	14	0	0	14	0.000
佐治村	1,132	225	26	22.2	28	6	34	13.5	25	73.5	11	14	0	0	14	0.000
智頭町	5,488	957	149	20.2	78	20	98	8.9	78	79.6	24	52	0	2	54	0.181
気高町	2,087	499	326	39.5	48	73	121	14.7	109	90.1	57	51	1	0	52	0.121
鹿野町	1,681	56	574	37.5	4	33	37	5.9	27	73.0	13	13	0	1	14	0.159
青谷町	3,128	638	201	26.8	82	47	129	15.4	81	62.8	34	47	0	0	47	0.000
羽台町	1,086	565	9	52.9	105	2	107	18.6	76	71.0	16	58	0	2	60	0.348
泊村	704	108	62	24.1	15	11	26	15.3	23	88.5	14	9	0	0	9	0.000
東郷町	1,902	502	43	28.7	81	28	109	20.0	63	57.8	20	43	0	0	43	0.000
三朝町	1,710	690	122	40.4	122	98	122	17.7	98	80.3	28	68	0	2	70	0.290
関金町	1,013	454	185	44.8	96	23	96	21.1	78	81.3	31	45	0	2	47	0.441
北条町	2,092	390	185	27.5	52	23	75	13.0	54	72.0	12	39	0	3	42	0.522
大栄町	2,157	920	920	42.7	133	73	133	14.5	115	86.5	60	54	0	1	55	0.109
東伯町	4,661	1,259	1,259	27.0	135	2	135	10.7	101	74.8	25	75	0	1	76	0.079
赤碕町	2,835	775	12	27.8	127	2	129	16.4	95	73.6	31	64	0	0	64	0.000
西伯町	998	234	228	46.3	18	35	53	11.5	42	79.2	11	30	0	1	31	0.216
糸見町	1,679	319	319	19.0	34	34	34	10.7	21	61.8	3	18	0	0	18	0.000
岸本町	3,100	590	136	19.0	60	60	60	10.2	50	83.3	12	37	0	1	38	0.169
日吉津村	606	244	136	62.7	25	14	39	10.3	29	74.4	8	21	0	0	21	0.000
淀江町	3,559	568	119	19.3	60	15	75	10.9	66	88.0	16	50	0	0	50	0.000
大山町	2,168	449	80	24.4	57	14	71	13.4	60	84.5	19	40	0	1	41	0.189
名和町	1,484	452	452	30.5	53	53	53	11.7	39	73.6	17	22	0	0	22	0.000
中山町	1,648	444	444	26.9	43	16	43	9.7	30	69.8	10	19	0	1	20	0.225
日南町	3,445	983	52	30.0	106	16	122	11.8	87	71.3	33	52	0	2	54	0.193
日野町	1,481	543	543	36.7	46	46	46	8.5	35	76.1	5	30	0	0	30	0.000
江府町	2,461	545	545	22.1	60	60	60	11.0	44	73.3	11	32	0	1	33	0.183
溝口町	1,223	555	117	54.9	37	16	53	7.9	29	54.7	13	16	0	0	16	0.000
合計	172,825	21,776	14,930	21.2	2,558	2,592	5,150	14.0	3,766	73.1	1,182	2,520	2	62	2,584	0.174

(3) 平成12年度胃がん内視鏡検診

1) 年齢階級別結果

年 齢	一 次 検 診 受 診 者 数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	59	82	32	42	27	40	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	61	92	32	58	29	33	0	1	0	0	0.000	1.087
50 ~ 54	120	182	58	102	62	77	0	0	1	3	0.833	1.648
55 ~ 59	92	216	49	119	42	97	0	0	0	0	0.000	0.000
60 ~ 64	191	360	86	203	105	157	0	0	0	0	0.000	0.000
65 ~ 69	328	487	157	276	169	209	1	0	1	2	0.610	0.411
70 ~ 74	281	394	138	243	137	150	2	0	4	1	2.135	0.254
75 ~ 79	185	298	96	162	86	136	0	0	3	0	1.622	0.000
80歳以上	88	135	45	73	39	62	1	0	3	0	4.545	0.000
計	1,405	2,246	693	1,278	696	961	4	1	12	6	1.139	0.312
合 計	3,651		1,971		1,657		5		18		0.630	

2) 検診機関別結果

検診機関	一 次 検 診 受 診 者 数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
病 院	354	412	151	158	201	251	0	1	2	2	0.565	0.728
診 療 所	1,051	1,834	542	1,120	495	710	4	0	10	4	1.332	0.218
計	1,405	2,246	693	1,278	696	961	4	1	12	6	1.139	0.312
合 計	3,651		1,971		1,657		5		18		0.630	

3) 平成12年度胃がん内視鏡検診受診状況

市 村	町 名	検 査 結 果 別 人 員					有 所 見 者 計 F=C+D+E	がん発見率(%) G=(D+E)/A
		受 診 者 数 A	異常認めず B	そ の 他 の 病 疾 C	が ん 疑 い D	が ん E		
鳥 取 市		614	172	439	2	1	442	0.489
米 子 市		2,244	1,375	853	3	13	869	0.713
倉 吉 市		0	0	0	0	0	0	
境 港 市		0	0	0	0	0	0	
国 府 町		13	3	10	0	0	10	0.000
岩 美 町		0	0	0	0	0	0	
福 部 村		22	20	2	0	0	2	0.000
郡 家 町		0	0	0	0	0	0	
船 岡 町		0	0	0	0	0	0	
河 原 町		0	0	0	0	0	0	
八 東 町		0	0	0	0	0	0	
若 桜 町		0	0	0	0	0	0	
用 瀬 町		0	0	0	0	0	0	
佐 治 村		144	97	47	0	0	47	0.000
智 頭 町		0	0	0	0	0	0	
気 高 町		166	63	102	0	1	103	0.602
鹿 野 町		72	55	17	0	0	17	0.000
青 谷 町		0	0	0	0	0	0	
羽 合 町		18	5	12	0	1	13	5.556
泊 村		112	50	61	0	1	62	0.893
東 郷 町		27	13	14	0	0	14	0.000
三 朝 町		0	0	0	0	0	0	
関 金 町		0	0	0	0	0	0	
北 条 町		0	0	0	0	0	0	
大 栄 町		0	0	0	0	0	0	
東 伯 町		0	0	0	0	0	0	
赤 碓 町		43	30	13	0	0	13	0.000
西 伯 町		0	0	0	0	0	0	
会 見 町		0	0	0	0	0	0	
岸 本 町		0	0	0	0	0	0	
日 吉 津 村		0	0	0	0	0	0	
淀 江 町		40	18	22	0	0	22	0.000
大 山 町		19	10	9	0	0	9	0.000
名 和 町		0	0	0	0	0	0	
中 山 町		0	0	0	0	0	0	
日 南 町		0	0	0	0	0	0	
日 野 町		0	0	0	0	0	0	
江 府 町		0	0	0	0	0	0	
溝 口 町		117	60	56	0	1	57	0.855
合 計		3,651	1,971	1,657	5	18	1,680	0.630

(4) 平成12年度胃がん検診受診状況 (X線 + 内視鏡)

市町村名	対象者数 A	受診者数				X線検診精密検査及内視鏡検診結果別人員						
		X線 受診者 B	内視鏡 受診者 C	計 D = B + C	受診率 (%) E = D / A	異常 認めず F	その他 の疾病 G	が ん 疑 い H	が ん I	異常者 総計 J = G + H + I	がん発見率 (%) K = (H + I) / D	
鳥取市	38,000	5,743	614	6,357	16.7	369	877	2	12	891	0.220	
米子市	39,095	5,862	2,244	8,106	20.7	1,547	1,353	3	27	1,383	0.370	
倉吉市	11,644	1,683	0	1,683	14.5	83	136	1	3	140	0.238	
境港市	11,451	1,596	0	1,596	13.9	38	152	0	5	157	0.313	
国府町	1,263	661	13	674	53.4	30	61	0	0	61	0.000	
岩美町	3,051	1,029	0	1,029	33.7	34	54	0	2	56	0.194	
福部村	890	306	22	328	36.9	32	11	0	1	12	0.305	
郡家町	1,883	872	0	872	46.3	23	46	0	0	46	0.000	
船岡町	1,607	509	0	509	31.7	13	14	0	2	16	0.393	
河原町	3,328	703	0	703	21.1	20	54	0	2	56	0.284	
八東町	1,798	625	0	625	34.8	16	36	0	1	37	0.160	
若桜町	1,479	444	0	444	30.0	7	17	0	0	17	0.000	
用瀬町	1,808	390	0	390	21.6	6	14	0	0	14	0.000	
佐治村	1,132	251	144	395	34.9	108	61	0	0	61	0.000	
智頭町	5,488	1,106	0	1,106	20.2	24	52	0	2	54	0.181	
気高町	2,087	825	166	991	47.5	120	153	1	1	155	0.202	
鹿野町	1,681	630	72	702	41.8	68	30	0	1	31	0.142	
青谷町	3,128	839	0	839	26.8	34	47	0	0	47	0.000	
羽合町	1,086	574	18	592	54.5	21	70	0	3	73	0.507	
泊村	704	170	112	282	40.1	64	70	0	1	71	0.355	
東郷町	1,902	545	27	572	30.1	33	57	0	0	57	0.000	
三朝町	1,710	690	0	690	40.4	28	68	0	2	70	0.290	
関金町	1,013	454	0	454	44.8	31	45	0	2	47	0.441	
北条町	2,092	575	0	575	27.5	12	39	0	3	42	0.522	
大栄町	2,157	920	0	920	42.7	60	54	0	1	55	0.109	
東伯町	4,661	1,259	0	1,259	27.0	25	75	0	1	76	0.079	
赤碕町	2,835	787	43	830	29.3	61	77	0	0	77	0.000	
西伯町	998	462	0	462	46.3	11	30	0	1	31	0.216	
会見町	1,679	319	0	319	19.0	3	18	0	0	18	0.000	
岸本町	3,100	590	0	590	19.0	12	37	0	1	38	0.169	
日吉津村	606	380	0	380	62.7	8	21	0	0	21	0.000	
淀江町	3,559	687	40	727	20.4	34	72	0	0	72	0.000	
大山町	2,168	529	19	548	25.3	29	49	0	1	50	0.182	
名和町	1,484	452	0	452	30.5	17	22	0	0	22	0.000	
中山町	1,648	444	0	444	26.9	10	19	0	1	20	0.225	
日南町	3,445	1,035	0	1,035	30.0	33	52	0	2	54	0.193	
日野町	1,481	543	0	543	36.7	5	30	0	0	30	0.000	
江府町	2,461	545	0	545	22.1	11	32	0	1	33	0.183	
溝口町	1,223	672	117	789	64.5	73	72	0	1	73	0.127	
合計	172,825	36,706	3,651	40,357	23.4	3,153	4,177	7	80	4,264	0.216	

(5) 平成12年度胃がん検診発見胃がん患者追跡調査報告

表1 報告胃がん追跡調査

地区 検診別	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
確 定 胃 癌	16	7	3	10	4	1	8	21	11	81 0 201
癌 発 見 率	26 0.163 (0 291)			15 0.191 (0 500)			40 0 242 (0 455)			
早 期 癌 (%)	12	5	2	7	2	1	5	15	9	58 71.6
進 行 癌	4	2	1	3	2	0	3	6	2	23
切 除 例	16	5	3	10	4	1	8	20	9	76
非 切 除 例	0	2	0	0	0	0	0	1	2	5*

*手術拒否... 4、手術不能... 1
内視鏡手術：東(5)、中(1)、西(7)

表2 性・年齢別

	40 49	50 59	60 69	70 79	80	計
男	1	6	12	24	8	51
女	2	2	9	11	6	30

表3 早期がんの肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
	5	2	0	3	0	0	1	0	0	11(19.0)
a	1	0	0	0	0	0	1	2	3	7(12.1)
c	5	3	0	3	1	1	3	13	5	34(58.6)
c+	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2(3.4)
a+ c	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2(3.4)
そ の 他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2(3.4)
計	12	5	2	7	2	1	5	15	9	58

表4 進行がんの肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2(8.7)
2	3	0	0	0	0	0	3	3	0	9(39.1)
3	1	0	1	2	0	0	0	1	0	5(21.7)
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
5	0	0	0	1	2	0	0	1	0	4(17.4)
不 明	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3(13.0)
計	4	2	1	3	2	0	3	6	2	23

表5 切除例の深達度

	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
t1	12	5	2	7	2	1	5	15	9	58
t2	4	0	1	1	1	0	2	1	0	10
t3	0	0	0	2	1	0	1	4	0	8
t4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	5	3	10	4	1	8	20	9	76
不 明	0	2	0	0	0	0	0	1	2	5

表6 切除例の大きさ

mm	~ 10	11~20	小計 (%)	21~50	51~	計	不 明
車 検 診	3	5	8(24.2)	21	4	33	1
施 設 検 診	7	9	16(55.2)	9	4	29	3
内 視 鏡 検 診	3	3	6(50.0)	5	1	12	3
計	13	17	30(40.5)	35	9	74	7

表 7 1 切除例の占拠部位（早期癌）

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	2	4	2
M	12	11	7
L	10	7	3
全 体	0	0	0
計	24	22	12

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	9	9	3
大 弯	3	1	0
前 壁	5	2	4
後 壁	7	10	5
全 周	0	0	0
計	24	22	12

表 7 2 切除例の占拠部位（進行癌）

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	1	4	0
M	6	4	1
L	3	0	0
全 体	0	0	0
計	10	8	1
不 明	0	0	2

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	3	5	0
大 弯	2	0	1
前 壁	1	2	0
後 壁	3	1	0
全 周	1	0	0
計	10	8	1
不 明	0	2	2

第 8 前年度受診歴を有する進行癌

地 区	検 診	歳	性	型	深達度	組 織	大 (mm)	占拠部位
東 部	車 検 診	65	女	2	t2(mp)	muc	50×60	L大弯
	車 検 診	84	女	2	t2(mp)	por1	25×28	M小弯
	車 検 診	76	男	2	t2(mp)	por2	30×40	M後壁
中 部	車 検 診	68	男	5	t3(se)	por2	20×40	LM小弯
	車 検 診	68	女	3	t3(se)	tub1	50×70	U小弯
西 部	車 検 診	53	男	2	t2(mp)	por1	30×60	L全周
	車 検 診	45	男	2	t3(se)	endocrine cell carcinoma	40×40	L小弯
東 部	施設検診	82	男	1	手術拒否にて不明			U小弯
西 部	施設検診	81	男	2	t3(se)	pap	50×50	U前壁
	施設検診	74	男	手術拒否				
	施設検診	80	女	3	t3(se)	tub2	45×55	M小弯
	施設検診	80	男	1	t3(se)	por1	42×73	U後壁小弯

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成12年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は124,662人で、このうち受診者数は25,797人（「頸部のみ」25,295人、「頸部+体部」502人）で受診率は20.7%であった。平成11年度より対象者は1,441人、受診者数は77人減少したが、受診率は0.2ポイント増加した。受診者数、率ともに平成3年度をピークに減少傾向にある。

また、一次検診受診者の経年受診率は86.4%であった。

要精検者数は110人（車検診：29人、施設検診：81人）、要精検率は0.43%で前年度より0.10ポイント減少した。

このうち、精密検査を受診したのは92人、精検受診率は83.6%で前年度より1.8ポイント増加した。精検結果は、子宮がん11人、異形成28人の合計39人であり、子宮がん発見率は0.15%で、前年度より0.08ポイント減少した。

年代別にみると受診率は50～54歳が高く、要精検率、がん発見率は30歳～39歳が高かった。

一次検診を病院で受診した人の精検受診率が64.7%と非常に低かった。

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者数25,797人中、体部がん検診対象者数は626人で、一次検診会場での受診者は502人、また一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者が87人で、受診者の合計は589人で、受診率は94.1%であった。

一次検診の結果、要精検となった者は11人、要精検率2.2%で、精検受診者数8人、精検受診率は72.7%であった。

精検の結果、子宮体部がんは一次検診会場の受診者から0人、医療機関での検査受診者から3人、発見された。子宮内膜増殖症は一次検診会場での受診者からは2人、医療機関での検査受診から8人、計10人発見された。がん発見率は2.2%であった。

依然として、体部がん検診の受診者が少なく、実施していない市町村もある。

3. 子宮がん検診発見子宮がん追跡調査結果

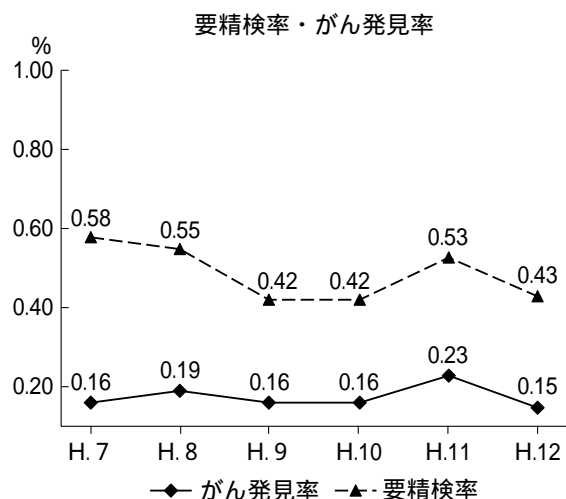
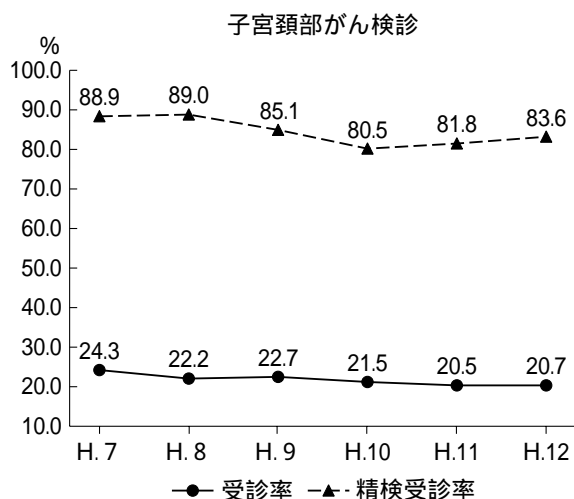
平成12年度に発見された子宮頸部癌10例、異形成30例について追跡調査を行った。平成11年度より19名も少なかった。そのうち0期が2例、a期が2例、b期以上が6例であった。

b期以上6例のうち5例は初回受診者、前年度検診受診者から1例発見されている。

また、子宮体部癌が3例、子宮内膜増殖症が7例であった。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
一次検診	対象者数(人)	128,319	132,865	127,386	124,486	126,103	124,662
	受診者数(人)	31,178	29,486	28,953	26,787	25,874	25,797
	受診率(%)	24.3	22.2	22.7	21.5	20.5	20.7
一次検診結果	異常認めず(人)	30,998	29,323	28,832	26,674	25,737	25,687
	要精検者数(人)	180	163	121	113	137	110
	要精検者の割合(%)	0.58	0.55	0.42	0.42	0.53	0.43
精密検査	受診者数(人)	160	145	103	91	112	92
	受診率(%)	88.9	89.0	85.1	80.5	81.8	83.6
精密検査結果	子宮がん又は異形成の者(人)	51	56	47	42	59	39
	子宮がん発見率(%)	0.16	0.19	0.16	0.16	0.23	0.15



(2) 平成12年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年齢	一次検診受診者数(人)	一次検診結果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
30～34	1,059	7	1,052	0.66
35～39	1,730	13	1,717	0.75
40～44	2,399	16	2,383	0.67
45～49	2,484	13	2,471	0.52
50～54	3,345	16	3,329	0.48
55～59	2,885	11	2,874	0.38
60～64	3,821	16	3,805	0.42
65～69	4,030	5	4,025	0.12
70歳以上	4,044	13	4,031	0.32
計	25,797	110	25,687	0.43

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子 宮 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異形成	子宮がん	
30 ~ 34	7	100.0	1	3	3	0	0.283
35 ~ 39	12	92.3	6	1	4	1	0.289
40 ~ 44	10	62.5	5	1	3	1	0.167
45 ~ 49	11	84.6	4	4	2	1	0.121
50 ~ 54	13	81.3	3	5	4	1	0.149
55 ~ 59	8	72.7	3	1	3	1	0.139
60 ~ 64	15	93.8	4	4	4	3	0.183
65 ~ 69	5	100.0	1	1	2	1	0.074
70 歳 以上	11	84.6	4	2	3	2	0.124
計	92	83.6	31	22	28	11	0.151

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一 次 検 診 機 関	一 次 検 診 受 診 者 数 (人)	一 次 検 診 結 果		要 精 検 率 (%)
		要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
保 健 事 業 団	12,358	29	12,329	0.23
病 院	5,200	34	5,166	0.65
診 療 所	8,239	47	8,192	0.57
計	25,797	110	25,687	0.43

b. 精密検査結果

一 次 検 診 機 関	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子 宮 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異形成	子宮がん	
保 健 事 業 団	25	86.2	8	7	8	2	0.081
病 院	22	64.7	7	9	3	3	0.115
診 療 所	45	95.7	16	6	17	6	0.279
計	92	83.6	31	22	28	11	0.151

4)平成12年度子宮頸部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		精検受診率		検査結果		異常者		がん発見率 (%) Q(N+O)/D				
	A	車検診 B	C 施設検診	D=B+C 計	E=D/A 受診率 (%)	F 車検診	G 施設検診	H=F+G 計	I=H/D 要精検率 (%)	J 精検受 診者数	K=J/H 精検受診 率(%)	L 異常 認めず		M その他 の疾病	N がん疑い	O がん	P 異常者 総計
鳥取市	29,800	680	2,789	3,469	11.6	1	15	16	0.5	14	87.5	4	5	5	0	10	0.144
米子市	28,930	2	5,068	5,070	17.5	0	32	32	0.6	30	93.8	9	5	10	6	21	0.316
倉吉市	7,344	325	948	1,273	17.3	1	4	5	0.4	5	100.0	2	0	1	2	3	0.236
境港市	8,296		930	930	11.2		2	2	0.2	2	100.0	1	0	1	0	1	0.108
国府町	930	477	41	518	55.7	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
岩美町	2,216	688	129	688	31.0	3	0	3	0.4	2	66.7	1	1	0	0	1	0.000
福部村	692	96	70	225	32.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
郡家町	1,336	665	70	735	55.0	3	0	3	0.4	3	100.0	1	0	2	0	2	0.272
船岡町	926	341		341	36.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
河原町	2,360	316	162	478	20.3	1	1	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
八東町	1,262	368		368	29.2	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
若桜町	1,345	427		427	31.7	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
用瀬町	1,794	109	136	245	13.7	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
佐治村	724	207	39	246	34.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
智頭町	3,658	679	71	750	20.5	0	9	9	1.2	4	44.4	2	2	0	0	2	0.000
気高町	1,495	104	339	443	29.6	0	1	1	0.2	1	100.0	0	0	0	1	1	0.226
鹿野町	1,040	147	117	264	25.4	0	2	2	0.8	2	50.0	0	0	1	0	1	0.379
青谷町	2,228	309	60	369	16.6	1	2	3	0.8	2	66.7	0	2	0	0	2	0.000
羽合町	1,009	142	318	460	45.6	0	2	2	0.4	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
泊村	602	104	64	168	27.9	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
東郷町	1,363	186	122	308	22.6	2	0	2	0.6	2	100.0	0	0	1	1	2	0.649
三朝町	1,246	422		422	33.9	1		1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.237
関金町	741	327		327	44.1	2		2	0.6	2	100.0	0	1	1	0	2	0.306
北条町	645	357	85	442	68.5	1	1	2	0.5	1	50.0	1	0	0	0	0	0.000
大栄町	1,535	918		918	59.8	3		3	0.3	3	100.0	1	1	1	0	2	0.109
東伯町	3,191	779		779	24.4	3		3	0.4	2	66.7	0	2	0	0	2	0.000
赤碕町	2,050	529	24	553	27.0	5	0	5	0.9	4	80.0	2	0	2	0	2	0.362
西伯町	556		209	209	37.6		0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
糸鼻町	1,048	226	15	241	23.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
岸本町	2,370	411	116	527	22.2	2	1	3	0.6	2	66.7	1	1	0	0	1	0.000
日吉津村	527	26	254	280	53.1	0	3	3	1.1	3	100.0	3	0	0	0	0	0.000
淀江町	2,529	61	529	590	23.3	0	2	2	0.3	1	50.0	0	0	1	0	1	0.169
大山町	1,390	321	36	357	25.7	0	1	1	0.3	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
名和町	1,107	105	258	363	32.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
中山町	984	214	32	246	25.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
日南町	1,931	566		566	29.3	1		1	0.2	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
日野町	1,028	347	32	379	36.9	0	0	0	0.0	0	0.0	0			0	0	0.000
江府町	1,566	2	367	369	23.6	0	2	2	0.5	2	100.0	1	0	0	1	1	0.271
溝口町	868	375	79	454	52.3	0	1	1	0.2	1	100.0	0	0	1	0	1	0.220
合計	124,662	12,358	13,439	25,797	20.7	29	81	110	0.4	92	83.5	31	22	28	11	61	0.151

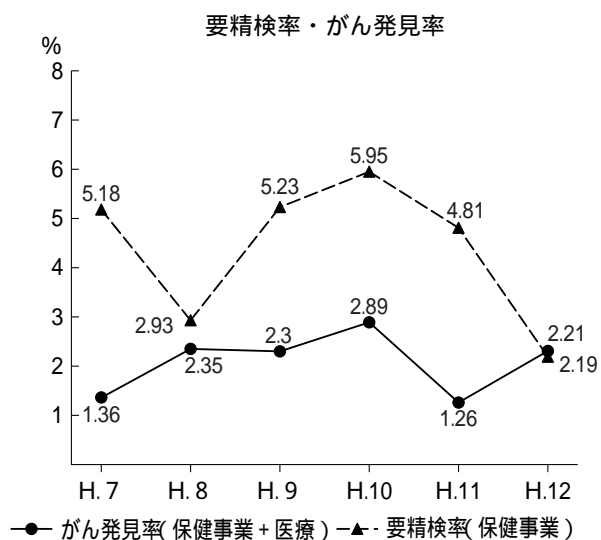
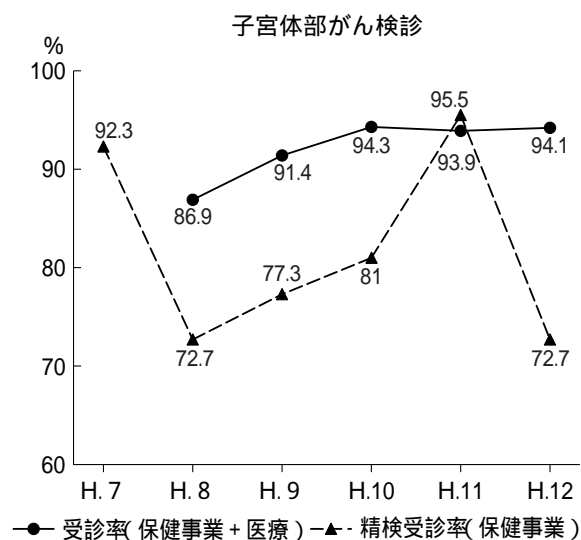
(3) 子宮体部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成7年度			平成8年度			平成9年度		
		保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計
一次検診	対象者数(人)		86		490		490	524		524
	受診者数(人)	251	44	295	375	51	426	421	58	479
	受診率(%)		51.2		76.5		86.9	80.3		91.4
一次検診結果	異常認めず(人)	238			364			399		
	要精検(人)	13			11			22		
	要精検者の割合(%)	5.18			2.93			5.23		
精密検査	受診者数(人)	12			8			17		
	受診率(%)	92.3			72.7			77.3		
精密検査結果	子宮がん又はがんの疑いのある者(人)	2	2	4	3	7	10	8	3	11
	子宮がん発見率(%)	0.80	4.55	1.36	0.80	13.73	2.35	1.90	5.17	2.30

区	分	平成10年度			平成11年度			平成12年度		
		保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計	保健事業分	医療分	合計
一次検診	対象者数(人)	404		404	506		506	626		626
	受診者数(人)	353	28	381	457	18	475	502	87	589
	受診率(%)	87.4		94.3	90.3		93.9	80.2		94.1
一次検診結果	異常認めず(人)	332			435			491		
	要精検(人)	21			22			11		
	要精検者の割合(%)	5.95			4.81			2.19		
精密検査	受診者数(人)	17			21			8		
	受診率(%)	81.0			95.5			72.7		
精密検査結果	子宮がん又はがんの疑いのある者(人)	6	5	11	5	1	6	2	11	13
	子宮がん発見率(%)	1.70	17.86	2.89	1.09	5.56	1.26	0.40	12.64	2.21

「保健事業分」については医療機関検診及び集団検診において検診を受けた者、「医療分」については集団検診で当日体部がん検診を受けられず、後日医療機関で受診した者です。

全体の対象者は平成8年度から集計を行っているため、それ以前の受診率は算出できません。



(4) 平成12年度子宮体部がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	体 部 が ん 検 診 対 象 者	一 次 検 診 受 診 者 数 (人)	一 次 検 診 結 果		要 精 検 率 (%)
			要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
30 ~ 34	26	26	0	26	0.00
35 ~ 39	52	47	0	47	0.00
40 ~ 44	95	83	3	80	3.61
45 ~ 49	126	106	3	103	2.83
50 ~ 54	171	133	3	130	2.25
55 ~ 59	62	49	1	48	2.04
60 ~ 64	36	27	0	27	0.00
65 ~ 69	36	20	0	20	0.00
70歳以上	22	11	1	10	9.09
計	626	502	11	491	2.19

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受 診 者 数 (人)	精 密 検 査 結 果			子 宮 体 部 が ん	子 宮 が ん 発 見 率 (%)
		異 常 認 め ず	そ の 他 の 疾 病	子 宮 内 膜 増 殖 症		
30 ~ 34	0	0	0	0	0	0.00
35 ~ 39	0	0	0	0	0	0.00
40 ~ 44	2	0	2	0	0	0.00
45 ~ 49	1	1	0	0	0	0.00
50 ~ 54	3	1	0	2	0	1.50
55 ~ 59	1	1	0	0	0	0.00
60 ~ 64	0	0	0	0	0	0.00
65 ~ 69	0	0	0	0	0	0.00
70歳以上	1	1	0	0	0	0.00
計	8	4	2	0	0	0.40

3) 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果(年齢階級別)

年 齢	体 部 が ん 検 査 受 診 者 数	検 査 結 果			
		異 常 認 め ず	そ の 他 の 疾 病	子 宮 内 膜 増 殖 症	子 宮 体 部 が ん
30 ~ 34	0	0	0	0	0
35 ~ 39	4	4	0	0	0
40 ~ 44	7	7	0	0	0
45 ~ 49	16	11	1	4	0
50 ~ 54	29	21	4	3	1
55 ~ 59	11	10	0	0	1
60 ~ 64	5	4	1	0	0
65 ~ 69	11	5	5	1	0
70歳以上	4	2	1	0	1
計	87	64	12	8	3

6)平成12年度子宮体部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		果別人員								
	A	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の疾病 M	子宮内膜増殖症 N	がん O	異常者 総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	215	0	179	179	83.3	0	1	1	0.6	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
米子市	197	0	197	197	100.0	0	4	4	2.0	3	75.0	2	0	1	0	1	0.508
倉吉市	37	0	34	34	91.9	0	1	1	2.9	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
境港市	17	0	17	17	100.0	0	0	0								0	
国府町	3	0	0	0		0		0								0	
岩美町	4	0	0	0		0		0								0	
福部村	6	0	4	4	66.7	0	0	0								0	
郡家町	4	0	2	2	50.0	0	0	0								0	
船岡町	5	0	0	0		0		0								0	
河原町	2	0	0	0		0		0								0	
八東町	2	0	0	0		0		0								0	
若桜町	3	0	0	0		0		0								0	
用瀬町	3	0	3	3	100.0	0	0	0								0	
佐治村	5	0	5	5	100.0	0	0	0								0	
智頭町	9	1	3	4	44.4	0	0	0								0	
気高町	4	0	0	0		0		0								0	
鹿野町	4	0	0	0		0		0								0	
青谷町	4	0	0	0		0		0								0	
羽合町	11	1	9	10	90.9	0	1	1	10.0	1	100.0	0	0	1	0	1	9.09
泊村	1	1	1	1	100.0	0	0	0								0	
東郷町	4	0	3	3	75.0	0	0	0								0	
三朝町	4	0	0	0		0		0								0	
関金町	1	0	0	0		0		0								0	
北条町	7	0	0	0		0		0								0	
大栄町	18	0	0	0		0		0								0	
東伯町	18	0	0	0		0		0								0	
赤碕町	12	0	0	0		0		0								0	
西伯町	12	0	11	11	91.7	0	1	1	9.1	0	0.0	0	0	0	0	0	
倉見町	11	0	8	8	72.7	0	1	1	12.5	0	0.0					0	
岸本町	3	0	3	3	100.0	0	1	1	33.3	1	100.0	1	0	0	0	0	
日吉津村	7	0	7	7	100.0	0	1	1	14.3	1	100.0	1	0	0	0	0	
淀江町	13	0	0	0		0		0								0	
大山町	5	0	5	5	100.0	0	0	0								0	
名和町	6	3	3	3	50.0	0	0	0								0	
中山町	3	0	0	0		0		0								0	
日野町	3	0	0	0		0		0								0	
江府町	6	0	6	6	100.0	0	0	0								0	
溝口町	5	0	497	502	80.2	0	11	11	2.2	8	72.7	4	2	2	0	4	0.398
合計	626	5	497	502	80.2	0	11	11	2.2	8	72.7	4	2	2	0	4	0.398

(3) 平成12年度子宮がん検診発見子宮がん患者追跡調査結果

表1 子宮がん検診追跡調査結果(頸部)

最終診断	車検診		施設検診	
	平成11年度	平成12年度	平成11年度	平成12年度
異形成	14	9	26	21
頸癌 0期	3	1	6	1
頸癌 a期	2	1	2	1
頸癌 b期以上	1	0	5	6
合計	20	11	39	29

表2 子宮がん検診追跡調査結果(体部)

最終診断	平成11年度	平成12年度
増殖症	4	7
体癌 a、b期	2	2
体癌 c期以上	0	1
合計	6	10

表3 発見子宮がん症例のがん検診受診歴

受診歴	車検診	施設検診	計
前年受診	0	1	1
2年間隔	0	0	0
3年以上の間隔	0	0	0
初回受診	0	5	5

表4 治療機関

	0期	a期	b期以上	体癌
鳥取大学	1	0	5	1
県立中央	0	2	0	1
鳥取市立	0	0	0	1
県立厚生	1	0	0	0
その他	0	0	1	0

3 . 肺 が ん 検 診

1 . 肺がん検診実績

平成12年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は175,818人で、このうち受診者数は62,837人（車検診：52,850人、施設検診：9,987人）で、受診率は35.7%であった。平成11年度より受診者数は2,008人減少し、受診率は0.8ポイント減少した。

要精検者数は311人で、要精検率は0.49%で、過去10年間で一番高かった。検診機関別にみると、施設検診での要精検率が男女とも高かった。しかし、全国の平均要精検率は2.7%で、他県に比べかなり低い結果であった。

また、精検受診率は77.8%で、ここ近年低下がみられる。

精検結果は肺がん51人、肺がん疑い8人の合計59人で発見率は0.09%で、前年度と同様であった。

また、受診者総数のうち経年受診者は51,371人で全体の81.8%を占め、これは、平成8年度より開始した医療機関検診が定着し経年受診者が年々増加していると思われる。この経年受診者からはがんが48人発見されており、発見率は0.093%、非経年受診者からの発見がんは11人、発見率0.096%で、非経年受診者の発見率が高かった。

X線検査受診者62,837人中、喀痰検査の対象者となる高危険群所属者は8,005人で、そのうち喀痰検査を受診した者は4,993人であった。高危険群所属者8,005人のうち、がん・がん疑いの者が20人発見され、がん発見率は0.250%であった。

非高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が39人発見され、がん発見率は0.071%で、高危険群所属者のがん発見率の方が約3.5倍高かった。

2 . 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

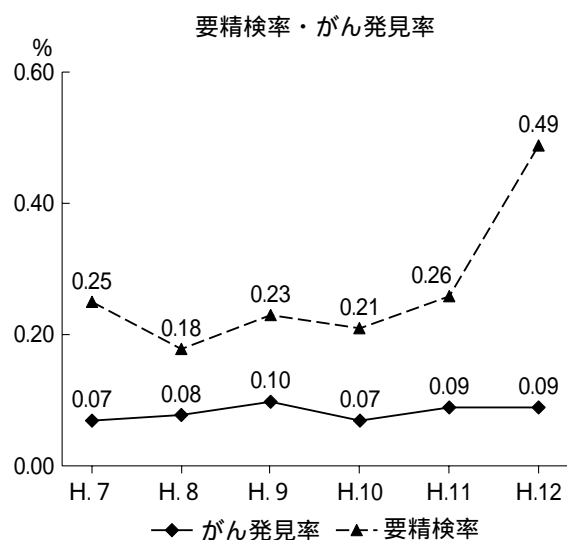
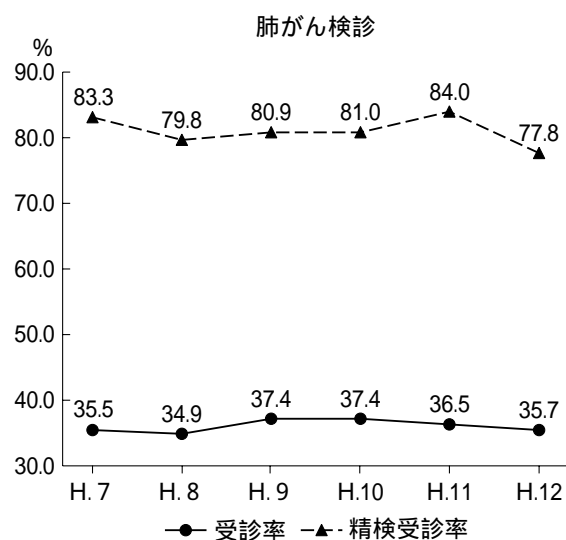
42例の原発性肺癌が発見された。発見率は10万対67である。TNM分類 Ⅰ期24例（57.1%）で早期肺癌が60%近くを占め、検診の目的は果たしている。組織型は腺癌28例、扁平上皮癌9例で最近の傾向として腺癌が多くなってきている。24例（57.1%）に手術が行われ、tnm分類 Ⅰ期22例（91.7%）、絶対的治癒手術18例（75.0%）であり、早期肺癌例が多いと云える。

昭和62年から平成12年までの発見肺癌は466例（発見率10万対55）であった。診断方法は胸X381例（81.8%）、細胞診50例（10.7%）、両者33例（7.1%）である。平均年齢70.7歳、男：女=301：165で、最近の女性肺癌の増加が著しい。TNM分類 0 + Ⅰ期240例（51.5%）と早期肺癌例は半数である。259例（55.6%）に手術が行われた。

手術有無別の累積生存率、術後病期別（新分類）の累積生存率は次頁の図に示す。全症例（466例）の5生率36.9%、10生率22.5%であり、手術例の5生率61.0%、10生率40.1%である。そして手術例のⅠA期の5生率は83.8%、10生率は60.1%と良好な結果を示している。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	183,971	183,887	179,302	172,667	177,815	175,818
	受 診 者 数(人)	65,226	64,169	67,092	64,540	64,845	62,837
	受 診 率(%)	35.5	34.9	37.4	37.4	36.5	35.7
一 次 検 診 結 果	異 常 認 め ず(人)	65,064	64,055	66,940	64,403	64,676	62,526
	要 精 検 者 数(人)	162	114	152	137	169	311
	要 精 検 者 の 割 合 (%)	0.25	0.18	0.23	0.21	0.26	0.49
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	135	91	123	111	142	242
	受 診 率 (%)	83.3	79.8	80.9	81.0	84.0	77.8
精 密 検 査 結 果	肺 がん 又 は が ん の 疑 い の あ る 者 (人)	47	50	70	48	58	59
	肺 がん 発 見 率 (%)	0.07	0.08	0.10	0.07	0.09	0.09



(2) 平成12年度肺がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

a. X線検査結果

年 齢	胸 部 X 線 検 査						X 線 フ ィ ル ム 読 影 結 果							
	X線検査 受診者数		経年受診 者数再掲		経年受診 者数割合 (%)		異常認めず		要精検者数		要精検率 (%)		X線検査受診 者中高危険群 所属者数	
	A		B		C = B / A		D		E				F	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	851	1,877	553	1,255	65.0	66.9	849	1,874	2	3	0.24	0.16	27	7
45 ~ 49	1,063	2,197	787	1,710	74.0	77.8	1,061	2,192	2	5	0.19	0.23	40	8
50 ~ 54	1,515	3,457	1,135	2,635	74.9	76.2	1,509	3,445	6	12	0.40	0.35	665	43
55 ~ 59	1,282	3,603	987	2,891	77.0	80.2	1,275	3,592	7	11	0.55	0.31	546	51
60 ~ 64	2,790	5,823	2,182	4,732	78.2	81.3	2,772	5,799	18	24	0.65	0.41	1,076	65
65 ~ 69	4,392	7,568	3,524	6,377	80.2	84.3	4,365	7,534	27	34	0.61	0.45	1,669	65
70 ~ 74	4,784	7,286	4,069	6,238	85.1	85.6	4,744	7,259	40	27	0.84	0.37	1,887	46
75 ~ 79	3,295	5,119	2,851	4,440	86.5	86.7	3,265	5,094	30	25	0.91	0.49	1,206	32
80歳以上	2,165	3,770	1,843	3,162	85.1	83.9	2,153	3,744	12	26	0.55	0.69	549	23
計	22,137	40,700	17,931	33,440	81.0	82.2	21,993	40,533	144	167	0.65	0.41	7,665	340
合 計	62,837		51,371		81.8		62,526		311		0.49		8,005	

b. 喀痰細胞診検査

年 齢	喀痰細胞診受診者数 (人)		喀 痰 細 胞 診 結 果					
			精検不要		要精検者数		要精検率 (%)	
	G		H		I			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	121	19	121	19	0	0	0.00	0.00
45 ~ 49	161	33	160	33	1	0	0.63	0.00
50 ~ 54	308	64	308	64	0	0	0.00	0.00
55 ~ 59	279	95	279	95	0	0	0.00	0.00
60 ~ 64	589	154	584	154	5	0	0.85	0.00
65 ~ 69	906	173	901	173	5	0	0.55	0.00
70 ~ 74	999	132	997	132	2	0	0.20	0.00
75 ~ 79	617	74	616	73	1	1	0.16	1.35
80歳以上	221	48	221	48	0	0	0.00	0.00
計	4,201	792	4,187	791	14	1	0.33	0.13
合 計	4,993		4,978		15		0.30	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	要精検者数		精密検査受診者数		精密検査受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
							異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	2	3	2	3	100.0	100.0	2	2	0	1	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	2(1)	5	0	2	0.0	40.0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.000	0.046
50 ~ 54	6	12	2	10	33.3	83.3	2	8	0	2	0	0	0	0	0.000	0.000
55 ~ 59	7	11	5	8	71.4	72.7	4	4	0	3	0	0	1	1	0.078	0.028
60 ~ 64	18(5)	24	12(2)	20	66.7	83.3	6(1)	8	5(1)	9	0	0	1	3	0.036	0.052
65 ~ 69	27(5)	34	19(3)	25	70.4	73.5	11(2)	14	3(1)	6	0	0	5	5	0.114	0.066
70 ~ 74	40(2)	27	34(1)	23	85.0	85.2	15(1)	11	10	6	3	1	6	5	0.188	0.082
75 ~ 79	30(1)	25(1)	27(1)	18(1)	90.0	72.0	9	8(1)	9	5	0	1	9(1)	4	0.273	0.098
80歳以上	12	26	10	22	83.3	84.6	1	8	2	8	1	2	6	4	0.323	0.159
計	144(14)	167(1)	111(7)	131(1)	77.1	78.4	50(4)	64(1)	29(2)	40(0)	4	4	28(1)	23	0.145	0.066
合 計	311(15)		242(8)		77.8		114(5)		69(2)		8		51(1)		0.094	

() は X線検査と喀痰細胞診検査が両者とも要精検

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率 (%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	18,295	33,645	100	127	18,195	33,518	0.55	0.38
中国労働衛生協会	321	589	1	0	320	589	0.31	0.00
病 院	1,573	2,865	34	27	1,539	2,838	2.16	0.94
診 療 所	1,948	3,601	9	13	1,939	3,588	0.46	0.36
計	22,137	40,700	144	167	21,993	40,533	0.65	0.41
合 計	62,837		311		62,526		0.49	

b. 精密検査結果

一次検診機関	要精検者数 (人)		精密検査受診者数		精密検査受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
							異常認めず		その他疾患		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	100	127	84	105	84.0	82.7	35	50	20	31	4	3	25	21	0.159	0.071
中国労働衛生協会	1	0	1	0	100.0	0.00	1	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
病 院	34	27	19	17	55.9	63.0	13	11	5	5	0	0	1	1	0.064	0.035
診 療 所	9	13	7	9	77.8	69.2	1	3	4	4	0	1	2	1	0.103	0.056
計	144	167	111	131	77.1	78.4	50	64	29	40	4	4	28	23	0.145	0.066
合 計	311		242		77.8		114		69		8		51		0.094	

4) 平成12年度肺がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		人員							
	A	車検診 B	施設検診 C	計 D = B + C	受診率 (%) E = D / A	車検診 F	施設検診 G	計 H = F + G	要精密検査率 (%) I = H / D	精検受診 者数 J	精検受診 率 (%) K = J / H	異常 認めず L	その他 の疾病 M	がん O	がん 発見率 (%) Q = (N + O) / D	
鳥取市	38,000	514	7,455	7,969	21.0	2	33	35	0.44	19	54.3	6	9	1	13	0.050
米子市	39,095	4,489		4,489	11.5	19		19	0.42	12	63.2	4	3	1	4	0.111
倉吉市	11,644	1,954	493	2,447	21.0	5	2	7	0.29	7	100.0	0	2	0	5	0.204
境港市	11,451	844		844	7.4	2		2	0.24	1	50.0	0	0	0	1	0.118
国府町	1,902	1,193		1,193	62.7	1		1	0.08	1	100.0	1	0	0	0	0.000
岩美町	3,050	943		943	30.9	4		4	0.42	3	75.0	2	0	1	0	0.106
福部村	944	461		461	48.8	2		2	0.43	2	100.0	2	0	0	0	0.000
都家町	2,626	1,727	100	1,727	65.8	6	0	6	0.35	5	83.3	1	1	0	3	0.174
船岡町	1,685	1,078		1,078	64.0	4		4	0.37	2	50.0	2	0	0	0	0.000
河原町	2,798	956	239	1,195	42.7	2	0	2	0.17	2	100.0	0	2	0	2	0.000
八東町	1,965	1,185		1,185	60.3	9		9	0.76	8	88.9	3	0	0	5	0.422
若桜町	1,254	711		711	56.7	0		0	0.00	0	0.0	0			0	0.000
用瀬町	805	771	22	793	98.5	0	1	1	0.13	1	100.0	1	0	0	0	0.000
佐治村	1,211	527	176	703	58.1	1	0	1	0.14	1	100.0	0	0	0	1	0.142
智頭町	3,651	1,555	71	1,626	44.5	6	8	14	0.86	9	64.3	5	3	0	4	0.062
気高町	2,087	1,042	498	1,540	73.8	4	4	8	0.52	8	100.0	4	2	0	2	0.130
鹿野町	1,708	965	173	1,138	66.6	1	8	9	0.79	8	88.9	3	5	0	5	0.000
青谷町	3,156	1,419	138	1,557	49.3	4	25	29	1.86	18	62.1	16	1	0	2	0.064
羽合町	1,579	1,178	27	1,205	76.3	1	0	1	0.08	1	100.0	0	0	0	1	0.083
油村	769	503	210	713	92.7	0	0	0	0.00	0	0.0	0			0	0.000
東郷町	2,686	1,743	62	1,805	67.2	4	0	4	0.22	3	75.0	2	0	0	1	0.055
三朝町	2,319	1,850		1,850	79.8	4		4	0.22	4	100.0	2	1	0	2	0.054
関金町	1,400	1,036		1,036	74.0	1		1	0.10	1	100.0	0	1	0	0	0.000
北条町	2,150	1,346	184	1,530	71.2	6	2	8	0.52	6	75.0	3	2	0	3	0.065
大来町	2,785	2,366		2,366	85.0	2		2	0.08	2	100.0	0	1	0	2	0.042
東伯町	4,285	3,310		3,310	77.2	5		5	0.15	4	80.0	0	0	0	4	0.121
赤碕町	3,157	2,257	54	2,311	73.2	4	0	4	0.17	3	75.0	1	0	0	2	0.087
西伯町	2,166	1,099		1,099	50.7	6		6	0.55	4	66.7	3	0	0	1	0.091
糸貝町	1,084	764		764	70.5	6		6	0.79	6	100.0	4	1	0	2	0.131
岸本町	3,100	1,447		1,447	46.7	16		16	1.11	15	93.8	5	4	1	5	0.415
日吉津村	710	442		442	62.3	1		1	0.23	1	100.0	1	0	0	0	0.000
淀江町	3,001	2,207		2,207	73.5	30		30	1.36	27	90.0	6	16	2	3	0.227
大山町	2,564	1,984	85	2,069	80.7	12	0	12	0.58	6	50.0	2	3	1	0	0.048
名和町	2,218	1,552		1,552	70.0	12		12	0.77	9	75.0	5	3	0	4	0.064
中山町	3,372	1,506		1,506	44.7	17		17	1.13	15	88.2	7	6	1	8	0.133
日南町	3,197	1,561		1,561	48.8	17		17	1.09	16	94.1	13	2	0	3	0.064
日野町	1,498	681		681	45.5	5		5	0.73	5	100.0	5	0	0	0	0.000
江府町	1,654	911		911	55.1	1		1	0.11	1	100.0	1	0	0	0	0.000
溝口町	1,092	873		873	80.0	6		6	0.69	6	100.0	4	1	0	2	0.115
合計	175,818	52,850	9,987	62,837	35.7	228	83	311	0.49	242	77.8	114	69	8	128	0.094

(3) 平成12年度肺がん検診発見肺がん患者の予後調査結果

肺がん確定診断（原発性466、転移性67）	533例
他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、その他4）	10例
他の良性疾患	21例
総計	564例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	合計
原発性肺癌	6	22	18	32	36	37	41	22	38	38	53	40	41	42	466
転移性肺癌	0	4	4	4	7	9	3	5	5	4	2	7	7	6	67
合計	6	26	22	36	43	46	44	27	43	42	55	47	48	48	533

2) 原発性肺がん診断方法

				〔H12年度集計〕			
胸 X 間 接	Dのみ	169例	} 381例 (81.8%)	Dのみ	20例	} 41例 (97.6%)	
	Eのみ	212例		Eのみ	21例		
細 胞 診	Dのみ	18例	} 50例 (10.7%)	Dのみ	0例	} 1例 (2.3%)	
	Eのみ	32例		Eのみ	1例		
胸 X 線間接と細胞診	D + D	8例	} 33例 (7.1%)	D + D	0例	} 0例 (0.0%)	
	D + E	8例		D + E	0例		
	E + D	4例		E + D	0例		
	E + E	13例		E + E	0例		
	不明	2例	} 2例 (0.4%)	不明	0例	} 0例 (0.0%)	
計				466例 (100%)	計		42例

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

年	受診者 (人)	要精検者 (人)	精検受診者 (人)	肺癌発見者 (人)	発見者 (対人口10万)
S 62	16,420	745 (4.54%)	652 (87.5%)	6	37
S 63	38,445	65 (0.17%)	60 (92.3%)	22	57
H 1	52,473	117 (0.22%)	107 (91.5%)	18	34
H 2	68,374	153 (0.22%)	132 (86.3%)	32	49
H 3	70,189	95 (0.14%)	89 (93.7%)	36	51
H 4	69,909	133 (0.19%)	111 (83.5%)	37	53
H 5	69,027	133 (0.19%)	98 (72.9%)	41	59
H 6	66,316	103 (0.16%)	89 (86.4%)	22	33
H 7	65,226	162 (0.25%)	135 (83.3%)	38	58
H 8	64,169	113 (0.18%)	91 (80.5%)	38	59
H 9	67,092	152 (0.23%)	123 (80.9%)	53	79
H 10	64,540	136 (0.21%)	109 (80.1%)	40	62
H 11	64,845	169 (0.26%)	142 (84.0%)	41	64
H 12	62,837	311 (0.49%)	242 (77.8%)	42	67
計	839,862	2,587 (0.31%)	2,180 (84.3%)	466	55

4) 原発性肺癌 (466例)

a. 年齢・性別

区分	原発性肺癌	比率(%)
50~59歳	38例	8.2
60~69歳	171	36.7
70~79歳	192	41.2
80~	65	13.9
計	466	100.0

平均年齢 = 70.7

男 : 女 = 301例 : 165例

[H12年度集計]

区分	原発性肺癌	比率(%)
50~59歳	2例	4.8
60~69歳	11	26.2
70~79歳	21	50.0
80~	8	19.0
計	42	100.0

平均年齢 = 72.1

男 : 女 = 23例 : 19例

b . 原発性肺癌の臨床病期と組織型

組織型 \ 病期	Occult			A	B		不明	計 (%)
扁平上皮癌	2	84	13	38	9	13	7	166(35.6)
腺癌	0	131	15	30	12	36	2	226(48.5)
大細胞癌	0	3	0	2	0	0	0	5(1.1)
小細胞癌	0	6	6	8	3	4	2	29(6.2)
腺扁平上皮癌	0	2	0	2	0	0	0	4(0.9)
腺様嚢胞癌	0	0	0	1	0	0	0	1(0.2)
不明	0	12	2	2	3	5	11	35(7.5)
計	2 (0.4)	238 (51.1)	36 (7.7)	83 (17.8)	27 (5.8)	58 (12.4)	22 (4.8)	466(100)

[H12年度集計]

臨床病期	(%)
Occult	0例
	24(57.1)
	4
A	6
B	1
	6
不明	1
計	42

組織型	(%)
扁平上皮癌	9例
腺癌	28(66.7)
大細胞癌	0
小細胞癌	1
腺扁平上皮癌	0
腺様嚢胞癌	0
不明	4
計	42

c . 原発性肺癌の手術症例 (259例、手術率 : 55.6%)

(a) 臨床病期、術後病期

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	2例	Occult	2例
	183(70.7)		173(66.8)
	18		17
A	47	A	47
B	6	B	10
	3		10
計	259	計	259

[H12年度集計]

原発性肺癌の手術症例

(24例、手術率 : 57.1%)

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	0例	Occult	0例
	18(75.0)		22(91.7)
	2		0
A	4	A	2
B	0	B	0
	0		0
計	24	計	24

(b) 組織型分類

組織型分類	(%)
扁平上皮癌	86例
腺癌	15(60.2)
大細胞癌	5
小細胞癌	5
腺扁平上皮癌	5
腺様嚢胞癌	1
不明	1
計	259

(c) 根治度

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	150例(57.9)
相対的治癒手術	53
相対的非治癒手術	29
絶対的非治癒手術	23
不明	4
計	259

} 203(78.4%)

〔H12年度集計〕

組織型	
扁平上皮癌	4例
腺癌	20
大細胞癌	0
小細胞癌	0
腺扁平上皮癌	0
計	24

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	18例(75.0)
相対的治癒手術	1
相対的非治癒手術	4
絶対的非治癒手術	1
計	24

} 19(79.2%)

d. 新病期分類の手術症例

(a) 病期分類

(全症例：466例、H12年度：42例)

臨床病期	全症例(%)	H12年度(%)
Occult	2例	0例
A	15(33.9)	17(40.5)
B	77	7
A	15	1
B	36	3
A	71	6
B	27	1
	59	6
不明	21	1
計	466	42

(b) 術後病理病期

(全手術症例：259例、H12年度：24例)

臨床病期	全症例(%)	H12年度(%)
Occult	2例	0例
A	12(46.3)	15(62.5)
B	53	7
A	8	0
B	17	0
A	39	2
B	10	0
	10	0
計	259	24

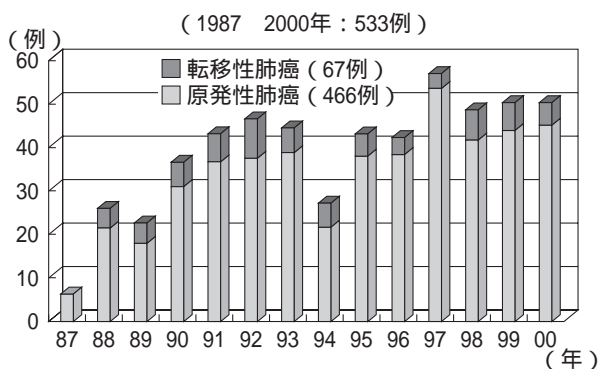
e . 腫瘍径

腫瘍径(mm)	H10年度(%)	H11年度(%)	H12年度(%)
0～10	1例	2例	1例
11～20	9(22.5)	10	15(35.7)
21～30	6	15(36.6)	7
31～40	6	9	8
41～50	7	1	3
51～	7	2	6
不明	4	2	2
計	40	41	42
平均	37.1mm	27.9mm	32.2mm

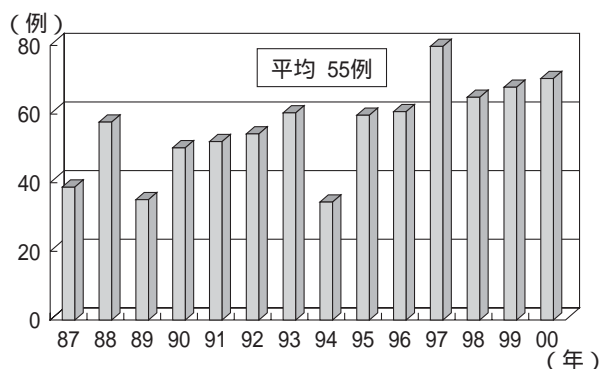
5) 転移性肺癌(67例)

大腸癌:19例 腎臓癌:8例 乳癌:6例 甲状腺癌:6例 胆のう癌:3例
 肝臓癌:3例 前立腺癌:3例 卵巣癌:2例 胃癌:2例 肺癌:2例
 咽頭癌:1例 肛門癌:1例 食道癌:1例 子宮癌:1例 尿管癌:1例
 顎下腺:1例 子宮肉腫:1例 胸腺癌:1例 膵臓癌:1例 膀胱癌:1例
 胆管癌:1例 不明:2例

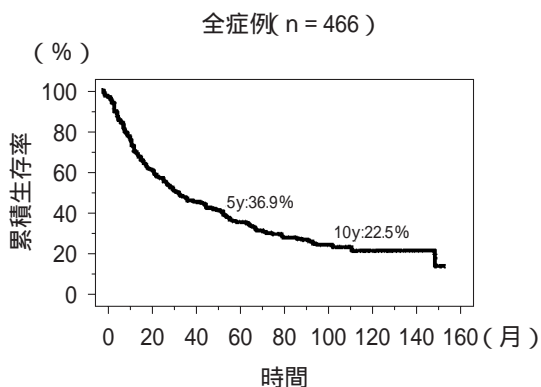
6) 検診発見肺癌の推移



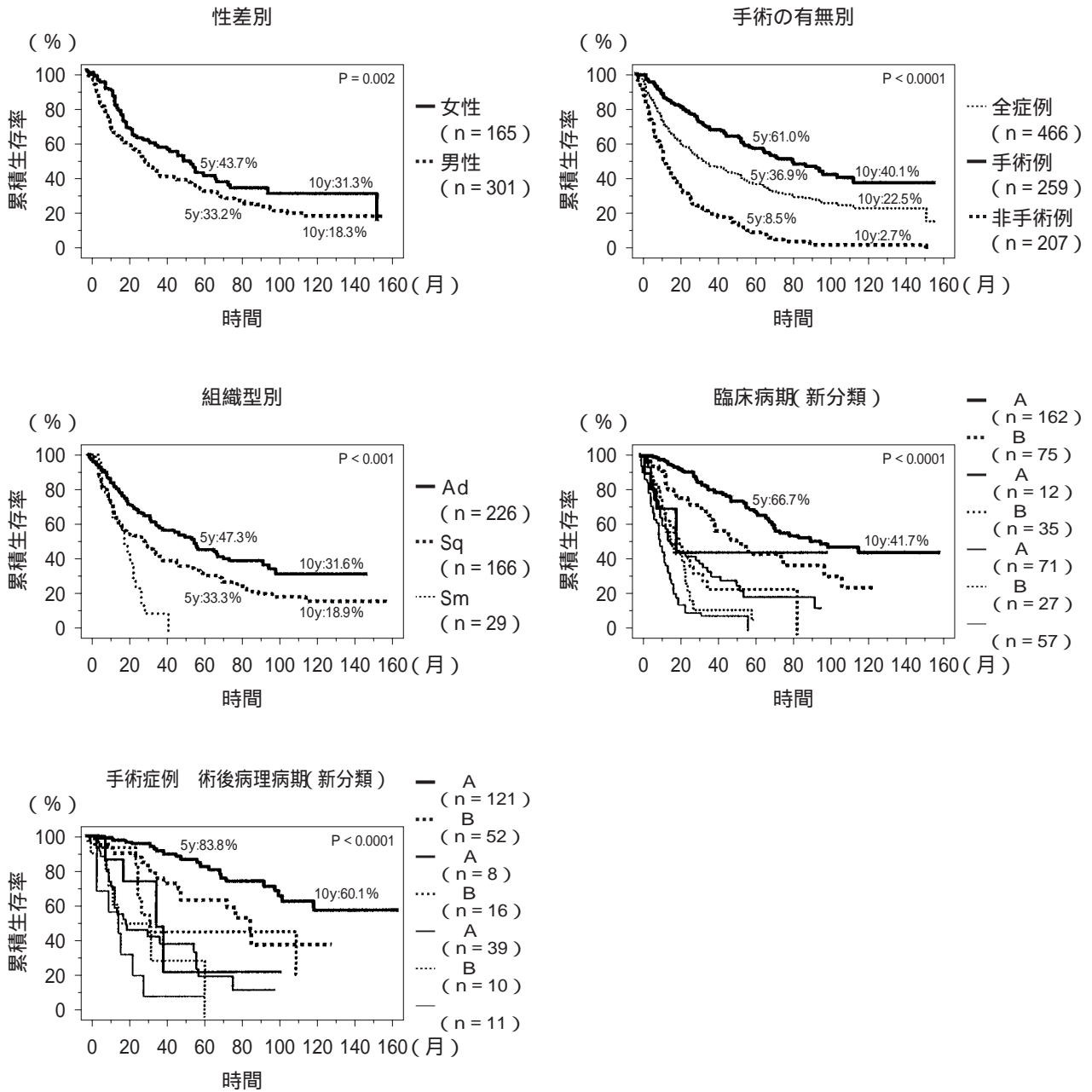
7) 原発性肺癌の発見率(対人口10万)



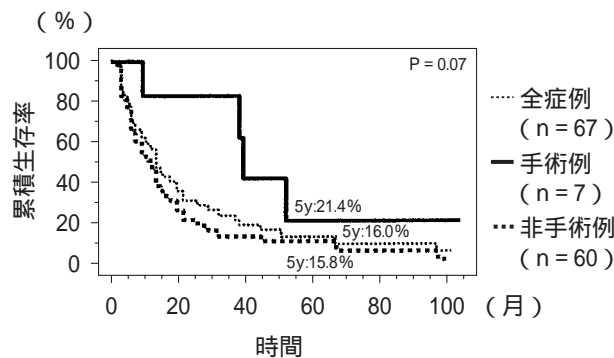
8) 検診発見肺癌の予後



9) 検診発見肺癌の予後



10) 検診発見転移性肺腫瘍の予後



4 . 乳 が ん 検 診

1 . 乳がん検診実績

平成12年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は127,810人で、このうち受診者数は29,532人（出張検診：13,829人、施設検診：15,703人）で受診率は23.1%であった。

過去10年間をみると、対象者受診者ともに30歳代、40歳代が激減しているため、受診勧奨が必要である。

要精検者数は758人（出張検診：113人、施設検診：645人）要精検率は2.57%で前年度より0.34ポイント増加した。また、検診機関別では、病院の要精検率が5.99%と非常に高い。これは一部でマンモグラフィ併用検診を行っているところがあるからと思われる。

このうち、精密検査を受診したのは635人、精検受診率は83.8%で、前年度に比べて0.4ポイント減少した。精検結果は乳がんが29人発見され、発見率0.10%であった。

年代別にみると、受診率は50～54歳、要精検率は35～39歳、がん発見率は45～49歳がそれぞれ高かった。

平成12年度は5町でマンモグラフィ併用検診が行われ、受診者数805人、要精検者数64人、要精検率7.95%、がんは発見されていない。検診体制が完備しないと全県的導入は難しい。そのためマンモグラフィ併用検診の実施状況等データの積み重ね、分析を行いながら、マンモグラフィ装置、読影医、撮影技師の技術向上等体制整備を行うことと合わせて、鳥取県健康対策協議会より県にマンモグラフィ検診車導入について働きかけていくことになった。

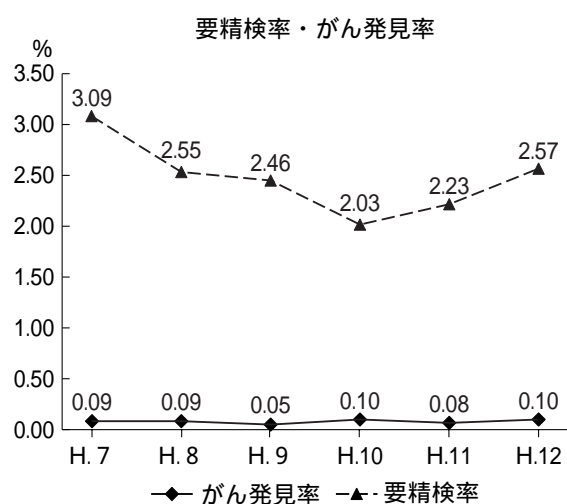
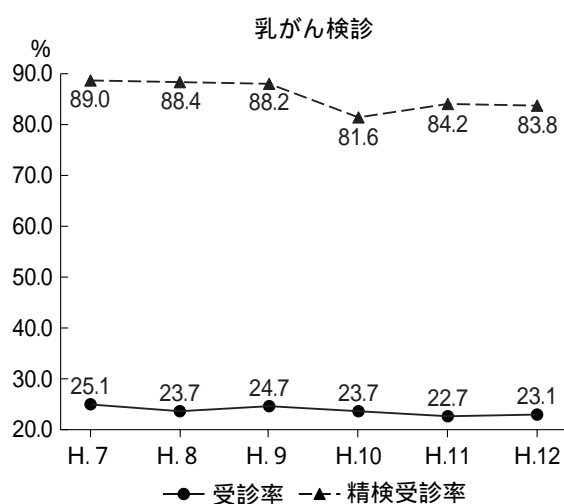
2 . 乳がん検診発見乳がん追跡調査結果

平成12年度の確定乳がんは29例で、前年度より5例増加した。30歳代の発見がんはなく、70歳以上の高齢者が全体の44%と増加しており、ハイリスク群である30歳代への啓発が必要と思われる。また、非浸潤癌が4例発見されており、マンモグラフィを導入により今後増加するものと思われる。病期分類はⅠが18例で62.1%を占め、乳房温存率は42.9%でやや低率であった。

繰り返し検診1年で発見された7例中5例は70歳以上であり、マンモグラフィを行っていれば発見されていた可能性が高いと思われた。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
一次検診	対象者数(人)	130,508	135,195	130,112	127,118	128,948	127,810
	受診者数(人)	32,789	32,073	32,131	30,086	29,231	29,532
	受診率(%)	25.1	23.7	24.7	23.7	22.7	23.1
一次検診結果	異常認めず(人)	31,776	31,255	31,340	29,476	28,578	28,774
	要精検者数(人)	1,013	818	791	610	653	758
	要精検者の割合(%)	3.09	2.55	2.46	2.03	2.23	2.57
精密検査	受診者数(人)	902	723	698	498	550	635
	受診率(%)	89.0	88.4	88.2	81.6	84.2	83.8
精密検査結果	乳がん又はがんの疑いのある者(人)	30	30	16	29	24	29
	乳がん発見率(%)	0.09	0.09	0.05	0.10	0.08	0.10



(2) 平成12年度乳がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年齢	一次検診受診者数(人)	一次検診結果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
30～34	1,002	39	963	3.89
35～39	1,667	81	1,586	4.86
40～44	2,386	96	2,290	4.02
45～49	2,610	120	2,490	4.60
50～54	3,618	107	3,511	2.96
55～59	3,209	81	3,128	2.52
60～64	4,379	78	4,301	1.78
65～69	4,742	70	4,672	1.48
70歳以上	5,919	86	5,833	1.45
計	29,532	758	28,774	2.57

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
30 ~ 34	33	84.6	9	24	0	0	0.000
35 ~ 39	69	85.2	20	49	0	0	0.000
40 ~ 44	78	81.3	18	56	1	3	0.168
45 ~ 49	101	84.2	14	81	0	6	0.230
50 ~ 54	89	83.2	17	69	0	3	0.083
55 ~ 59	65	80.2	23	40	0	2	0.062
60 ~ 64	72	92.3	34	38	0	0	0.000
65 ~ 69	57	81.4	32	24	1	0	0.021
70歳以上	71	82.6	24	34	0	13	0.220
計	635	83.8	191	415	2	27	0.098

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
医師雇上	3,434	72	3,362	2.10
保健事業団	10,395	41	10,354	0.39
病 院	7,324	439	6,885	5.99
診 療 所	8,379	206	8,173	2.46
計	29,532	758	28,774	2.57

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数	精密検査受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
医師雇上	62	86.1	31	30	1	0	0.029
保健事業団	39	95.1	11	23	1	4	0.048
病 院	350	79.7	90	254	0	6	0.082
診 療 所	184	89.3	59	108	0	17	0.203
計	635	83.8	191	415	2	27	0.098

4)平成12年度乳がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者				検査結果				がん発見率 (%) Q=(N+O)/D			
	A	出張検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	出張検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密率 (%) I=H/D	精検受診 率(%) K=J/H	異常 認めず L	その他 の疾病 M		がん 疑い N	がん O	異常者 総計 P
鳥取市	29,800	645	3,823	4,468	15.0	42	158	200	4.48	71.0	55	81	1	5	87	0.134
米子市	28,930		5,031	5,031	17.4		181	181	3.60	90.1	24	126	0	13	139	0.258
倉吉市	7,344	349	888	1,237	16.8	2	46	48	3.88	89.6	20	23	0	0	23	0.000
境港市	8,296		1,261	1,261	15.2		23	23	1.82	100.0	4	16	0	3	19	0.238
国府町	990	521	51	572	57.8	1	3	4	0.70	75.0	0	3	0	0	3	0.000
岩美町	2,434	849		849	34.9	4		4	0.47	75.0	1	2	0	0	2	0.000
福部村	712	93	144	237	33.3	0	3	3	1.27	33.3	1	0	0	0	0	0.000
都家町	1,399	736	54	790	56.5	0	2	2	0.25	50.0	0	1	0	0	1	0.000
船岡町	1,006	414		414	41.2	1		1	0.24	100.0	0	0	0	1	1	0.242
河原町	2,447	308	192	500	20.4	1	21	22	4.40	54.5	6	6	0	0	6	0.000
八東町	1,438	433		433	30.1	2		2	0.46	100.0	1	1	0	0	1	0.000
若桜町	1,480	466		466	31.5	15		15	3.22	93.3	10	4	0	0	4	0.000
用瀬町	1,794	105	150	255	14.2	0	4	4	1.57	75.0	2	1	0	0	1	0.000
佐治村	819	321	1	322	39.3	3	0	3	0.93	100.0	2	1	0	0	1	0.000
智頭町	3,647	3	754	757	20.8	0	10	10	1.32	100.0	0	10	0	0	10	0.000
気高町	1,495	92	502	594	39.7	0	11	11	1.85	100.0	7	4	0	0	4	0.000
鹿野町	1,061	142	185	327	30.8	1	14	15	4.59	60.0	5	4	0	0	4	0.000
青谷町	2,401	387	86	473	19.7	1	3	4	0.85	100.0	2	2	0	0	2	0.000
羽谷町	1,062	187	324	511	48.1	0	8	8	1.57	62.5	3	2	0	0	2	0.000
泊村	623	142	64	206	33.1	1	2	3	1.46	100.0	2	1	0	0	1	0.000
東郷町	1,385	207	143	350	25.3	0	4	4	1.14	50.0	2	0	0	0	0	0.000
三朝町	1,310	404	21	425	32.4	3	2	5	1.18	80.0	2	1	0	1	2	0.235
関金町	835	391		391	46.8	1		1	0.26	100.0	0	0	0	1	1	0.256
北条町	1,044	414	104	518	49.6	1	3	4	0.77	75.0	1	1	0	1	2	0.193
大栄町	1,732	1,117		1,117	64.5	4		4	0.36	100.0	0	3	1	0	4	0.090
東伯町	3,257	860		860	26.4	4		4	0.47	100.0	2	2	0	0	2	0.000
赤碕町	2,162	690	33	723	33.4	2	2	4	0.55	75.0	1	2	0	0	2	0.000
西伯町	694	342		342	49.3		8	8	2.34	87.5	2	5	0	0	5	0.000
糸見町	1,048	293	19	312	29.8	1	0	1	0.32	100.0	0	1	0	0	1	0.000
岸本町	2,370	540	113	653	27.6	4	9	13	1.99	100.0	0	13	0	0	13	0.000
日吉津村	544	251	19	270	49.6	6	0	6	2.22	83.3	1	4	0	0	4	0.000
淀江町	2,664	538		538	20.2		45	45	8.36	95.6	5	38	0	0	38	0.000
大山町	1,568	408	51	459	29.3	1	1	2	0.44	50.0	1	0	0	0	0	0.000
名和町	1,207	139	261	400	33.1	0	18	18	4.50	94.4	2	14	0	1	15	0.250
中山町	1,082	333		333	30.8	2		2	0.60	100.0	1	1	0	0	1	0.000
日南町	2,131	675		675	31.7	4		4	0.59	100.0	1	2	0	1	3	0.148
日野町	1,172	458	40	498	42.5	4	6	10	2.01	90.0	7	2	0	0	2	0.000
江府町	1,566	3	417	420	26.8	0	44	44	10.48	90.9	18	22	0	0	22	0.000
溝口町	861	453	92	545	63.3	2	14	16	2.94	100.0	0	16	0	0	16	0.000
合計	127,810	13,829	15,703	29,532	23.1	113	645	758	2.57	83.8	191	415	2	27	444	0.098

(3) 平成12年度乳がん検診発見乳がん患者追跡調査結果

1) 登録届出数 29例

確定乳癌 29例

鳥取市 6 米子市 13 境港市 3
 船岡町 1 三朝町 1 関金町 1
 北条町 1 大栄町 1 名和町 1
 日南町 1

2) 年齢構成

平均年齢60.9歳(40~89)

年 齢	例 数
40~	10
50~	5
60~	1
70~	11
80~	2

3) 病期分類

病期 TNM	例 数
	18
a	8
b	1
a	1
	1
計	29

(T3N2M1a)

最 大 腫 瘍 径	例 数
T 1 ~2.0cm	19
T 2 2.0~5.0cm	8
T 3 5.1cm以上	2

4) 手術術式(1例は追跡不能)

手 術 術 式	浸潤癌 (n = 24)	非浸潤癌 (n = 4)
拡大乳房切除術	1(Sc)	
胸筋合併乳房切除術	0	
胸筋温存乳房切除術	12	1
単純乳房切除術	1	1
乳房温存術	9	2(1例はBpのみ)
腫瘍切除術	1	

腫瘍径別にみた乳房温存率(浸潤癌)

T	温 存	非温存
T 1	9	6
T 2	1	6
T 3		2
計	10(41.7%)	14

5) 検診歴

検 診 歴	例 数	TNM			
初回検診	18	13	4	1	
繰り返し検診 1年	7	4	3		
2年以上	4	1	2		1

6) まとめ

- 1) 平成12年度の検診発見乳癌は29例であった。
- 2) 30歳代はなく70歳以上の高齢者が全体の44%と増加していた。
High risk群である30代への啓蒙が必要と思われる。
- 3) 非浸潤癌が4例発見された。
マンモグラフィー導入により今後増加するものと思われる。
- 4) 病期 が62.1%であった。
- 5) 乳房温存率は12/28 (42.9%) であった。
- 6) 繰り返し検診1年で発見された7例中5例は70歳以上であり、マンモグラフィーを行っていれば発見されていた可能性が高いと思われた。

5.大腸がん検診

1.大腸がん検診実績

平成12年度の対象者数(40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数)は179,933人で、このうち受診者数は49,671人(地域検診:25,862人、施設検診:23,809人)で、受診率は27.6%で受診者数率とも微増している。

要精検者数は4,563人(地域受診:1,977人、施設受診:2,586人)、要精検率は9.2%で、前年度より0.1ポイント増加している。

このうち、精密検査を受診したのは2,858人、精検受診率は62.6%で前年度より2.3ポイント減少している。

精検結果は、大腸がん122人、大腸がん疑い5人の合計127人が発見され、がん発見率は0.26%で前年度より0.04ポイント減少した。

要精検率は地域検診より施設検診の方が4%も高いが、施設検診の精検受診率は集団検診より約7%も低かった。

2.大腸がん検診発見大腸がん追跡調査結果

平成12年度に発見された大腸がん及び大腸がん疑い130例(地域検診:57例、施設検診:70例、職域検診:3例)について追跡調査を行った。

130例のうち、地域検診52例、施設検診65例、職域検診3例の合計120例が確定大腸がんで、そのうちの早期がんは79例で早期癌率は65.8%であった。

部位別にみると「直腸」「S状結腸」で62.5%を占め、処置としては、外科手術59例、内視鏡的治療59例であった。

地区別に比較すると、東部地区では外科手術が多く実施され、西部地区は内視鏡的治療が多かった。また、医療機関での内視鏡治療がふえている。

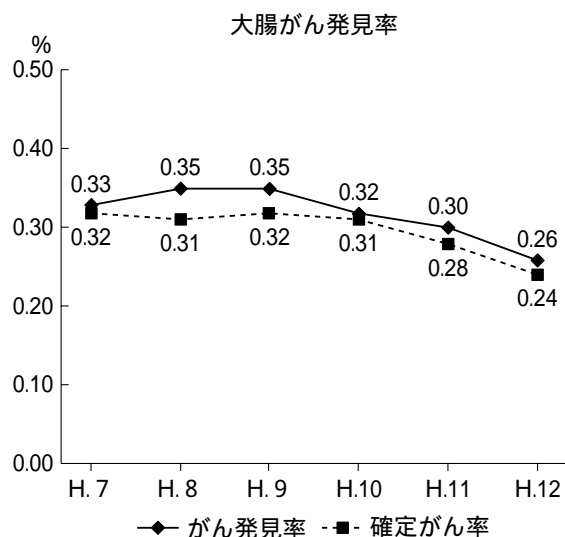
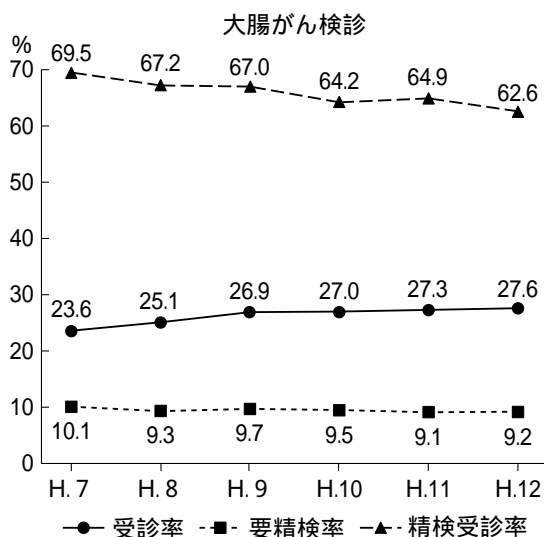
Dukes分類はAが72.5%、組織型分類はWellが67.5%であった。

深達度分類では、早期がんの「m」「sm」が66.9%を占め、全国集計とほぼ同様であった。施設検診から進行癌が多く発見されている。

逐年受診発見進行癌は7例あり、そのうち前年度便潜血陰性例は3例、前年度精検未受診例が2例であった。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
一次検診	対象者数(人)	188,417	193,294	185,761	182,629	181,677	179,933
	受診者数(人)	44,494	48,538	49,957	49,302	49,544	49,671
	受診率(%)	23.6	25.1	26.9	27.0	27.3	27.6
一次検診結果	異常認めず(人)	39,983	44,003	45,127	44,612	45,046	45,108
	要精検者数(人)	4,511	4,535	4,830	4,690	4,498	4,563
	要精検者の割合(%)	10.1	9.3	9.7	9.5	9.1	9.2
精密検査	受診者数(人)	3,134	3,049	3,234	3,013	2,920	2,858
	受診率(%)	69.5	67.2	67.0	64.2	64.9	62.6
精密検査結果	大腸がん又はがんの疑いのある者(人)	148	169	173	159	147	127
	大腸がん発見率(%)	0.33	0.35	0.35	0.32	0.30	0.26



(2) 平成12年度大腸がん検診結果

1) 一次検診結果 (年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率 (%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	875	1,432	63	98	812	1,334	7.2	6.8
45 ~ 49	1,028	1,808	97	109	931	1,699	9.4	6.0
50 ~ 54	1,498	3,037	153	196	1,345	2,841	10.2	6.5
55 ~ 59	1,206	3,257	124	218	1,082	3,039	10.3	6.7
60 ~ 64	2,436	5,048	261	358	2,175	4,690	10.7	7.1
65 ~ 69	3,774	6,257	444	490	3,330	5,767	11.8	7.8
70 ~ 74	3,701	5,603	466	452	3,235	5,151	12.6	8.1
75 ~ 79	2,317	3,393	314	320	2,003	3,073	13.6	9.4
80歳以上	1,261	1,740	177	223	1,084	1,517	14.0	12.8
計	18,096	31,575	2,099	2,464	15,997	29,111	11.6	7.8
合 計	49,671		4,563		45,108		9.2	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)		精密検査結果								大腸がん発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	36	53	57.1	54.1	21	40	15	13	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	53	56	54.6	51.4	20	27	32	26	0	0	1	3	0.097	0.166
50 ~ 54	70	141	45.8	71.9	25	81	42	58	1	0	2	2	0.200	0.066
55 ~ 59	71	148	57.3	67.9	30	84	37	62	1	0	3	2	0.332	0.061
60 ~ 64	167	235	64.0	65.6	60	126	100	98	0	0	7	11	0.287	0.218
65 ~ 69	278	317	62.6	64.7	85	150	177	156	0	0	16	11	0.424	0.176
70 ~ 74	309	302	66.3	66.8	89	146	197	143	2	1	21	12	0.621	0.232
75 ~ 79	220	198	70.1	61.9	77	104	128	86	0	0	15	8	0.647	0.236
80歳以上	108	96	61.0	43.0	35	40	72	49	0	0	1	7	0.079	0.402
計	1,312	1,546	62.5	62.7	442	798	800	691	4	1	66	56	0.387	0.181
合計	2,858		62.6		1,240		1,491		5		122		0.256	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

年 齢	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
	男	女	要精検者数		異常認めず		男	女
			男	女	男	女		
保健事業団	9,068	14,923	881	925	8,187	13,998	9.7	6.2
ファルコ	329	490	39	30	290	460	11.9	6.1
中国労働衛生協会	549	503	77	25	472	478	14.0	5.0
病院	2,238	3,815	232	294	2,006	3,521	10.4	7.7
診療所	5,912	11,844	870	1,190	5,042	10,654	14.7	10.0
計	18,096	31,575	2,099	2,464	15,997	29,111	11.6	7.8
合計	49,671		4,563		45,108		9.2	

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)		精密検査結果								大腸がん発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
保健事業団	569	635	64.6	68.6	210	344	334	266	1	0	24	25	0.276	0.168
ファルコ	32	25	82.1	83.3	10	9	21	14	0	0	1	2	0.304	0.408
中国労働衛生協会	39	19	50.6	76.0	13	7	24	10	0	0	2	2	0.364	0.398
病院	154	167	66.4	56.8	55	97	89	67	0	0	10	3	0.447	0.079
診療所	518	700	59.5	58.8	154	341	332	334	3	1	29	24	0.541	0.211
計	1,312	1,546	62.5	62.7	442	798	800	691	4	1	66	56	0.387	0.181
合計	2,858		62.6		1,240		1,491		5		122		0.256	

4)平成12年度大腸がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		異常者		がん発見率 (%) Q=(N+O)/D					
	A	地域検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	地域検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査 (%) I=H/D	精検受診 者数		精検受診 率(%) K=J/H				
鳥取市	38,000	909	7,084	7,993	21.0	79	698	777	9.7	422	54.3	236	1	21	258	0.275
米子市	39,095		9,271	9,271	23.7	90	1,087	1,087	11.7	612	56.3	325	0	31	356	0.337
倉吉市	11,644	1,179	531	1,710	14.7	90	54	144	8.4	92	63.9	42	0	3	45	0.175
境港市	11,451		1,996	1,996	17.4		241	241	12.1	200	83.0	129	1	6	136	0.351
国府町	1,687	956	88	1,044	61.9	82	9	91	8.7	68	74.7	34	0	1	35	0.096
岩美町	3,456	1,167	211	1,378	39.9	85	7	92	6.7	65	70.7	32	0	2	34	0.145
福部村	961	195	199	394	41.0	14	19	33	8.4	19	57.6	9	0	0	9	0.000
都家町	2,488	1,447	91	1,538	61.8	107	5	112	7.3	76	67.9	43	1	1	45	0.130
船岡町	1,685	701		701	41.6	68		68	9.7	51	75.0	25	0	4	29	0.571
河原町	3,673	682	226	908	24.7	39	13	52	5.7	26	50.0	7	0	2	9	0.220
八東町	2,072	902		902	43.5	67		67	7.4	48	71.6	28	0	3	31	0.333
若桜町	2,364	549	476	1,025	43.4	34	56	90	8.8	54	60.0	27	0	1	28	0.098
用瀬町	1,354	523	22	545	40.3	24	0	24	4.4	15	62.5	4	0	0	11	0.000
佐治村	1,326	333	171	504	38.0	31	17	48	9.5	23	47.9	7	0	0	16	0.000
智頭町	5,536	967	158	1,125	20.3	64	14	78	6.9	59	75.6	31	0	0	31	0.000
気高町	2,087	63	971	1,034	49.5	5	77	82	7.9	54	65.9	31	0	0	31	0.000
鹿野町	1,680	56	579	635	37.8	2	40	42	6.6	15	35.7	4	0	2	6	0.315
青谷町	3,156	881	189	1,070	33.9	62	17	79	7.4	50	63.3	14	0	1	36	0.093
羽合町	1,245	576	27	603	48.4	46	4	50	8.3	33	66.0	16	0	0	17	0.000
泊村	816	215	176	391	47.9	17	28	45	11.5	42	93.3	24	0	2	18	0.512
東郷町	2,151	490	55	545	25.3	55	10	65	11.9	32	49.2	11	0	1	21	0.183
三朝町	2,121	801		801	37.8	56		56	7.0	37	66.1	16	0	1	17	0.125
関金町	1,186	510		510	43.0	42		42	8.2	30	71.4	13	0	1	17	0.196
北条町	2,461	471	182	653	26.5	42	25	67	10.3	48	71.6	23	0	4	27	0.613
大栄町	2,767	1,705		1,705	61.6	119		119	7.0	88	73.9	39	0	3	42	0.176
東伯町	4,561	1,162		1,162	25.5	90		90	7.7	66	73.3	25	0	2	27	0.172
赤碕町	3,026	660	53	713	23.6	61	4	65	9.1	46	70.8	27	0	1	19	0.140
西伯町	1,086	47	555	602	55.4	6	93	99	16.4	50	50.5	15	2	1	18	0.498
糸見町	1,679	360		360	21.4	26		26	7.2	14	53.8	5	0	1	6	0.278
岸本町	3,100	653		653	21.1	61		61	9.3	40	65.6	20	0	0	20	0.000
日吉津村	790	403	121	524	66.3	27	17	44	8.4	30	68.2	14	0	0	16	0.000
淀江町	3,837	819	120	939	24.5	69	21	90	9.6	78	86.7	31	0	4	47	0.426
大山町	2,397	588	85	673	28.1	51	11	62	9.2	48	77.4	24	0	1	25	0.149
名和町	1,990	1,174		1,174	59.0	71		71	6.0	34	47.9	15	0	4	19	0.341
中山町	1,731	540	114	654	37.8	42	15	57	8.7	33	57.9	8	0	4	25	0.612
日南町	3,812	1,103	58	1,161	30.5	85	4	89	7.7	53	59.6	27	0	10	26	0.861
日野町	1,642	709		709	43.2	57		57	8.0	34	59.6	13	0	1	21	0.141
江府町	2,461	630		630	25.6	58		58	9.2	42	72.4	16	0	3	26	0.476
溝口町	1,359	736		736	54.2	43		43	5.8	31	72.1	13	0	0	18	0.000
合計	179,933	25,862	23,809	49,671	27.6	1,977	2,586	4,563	9.2	2,858	62.6	1,491	5	122	1,618	0.256

(3) 平成12年度大腸がん検診発見大腸がん患者追跡調査結果

表1 報告癌と確定癌

	地 域				施 設				職域	総計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
報告癌	15	15	27	57	25	3	42	70	3	130
確定癌	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120
腺癌	0	0	1	1	1	0	2	3	0	4
非癌	0	2	0	2	0	0	1	1	0	3
異常なし	0	1	0	1	0	0	1	1	0	2
その他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1

表2 性及び年齢

年 齢	40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	計	
地 域	男	0	0	2	0	3	3	11	6	0	25
	女	0	0	1	1	4	7	6	5	3	27
	計	0	0	3	1	7	10	17	11	3	52
施 設	男	0	1	1	4	4	10	11	8	1	40
	女	0	2	1	1	7	4	4	2	4	25
	計	0	3	2	5	11	14	15	10	5	65
職 域	男	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
総 計	男	0	1	3	5	8	14	22	14	1	68
	女	0	2	2	2	11	11	10	7	7	52
	計	0	3	5	7	19	25	32	21	8	120

表3 部 位

()内%

	地 域				施 設				職域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R	4	3	4	11	9	1	16	26	0	37(30.8)
S	4	5	8	17	10	1	10	21	0	38(31.7)
D	1	0	1	2	1	0	3	4	1	7(5.8)
T	2	0	3	5	1	0	1	2	0	7(5.8)
A	4	2	5	11	3	1	5	9	1	21(17.5)
C	0	2	2	4	0	0	2	2	1	7(5.8)
不明	0	0	2	2	0	0	1	1	0	3(2.5)
計	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120(100.0)

表4 大きさ

()内%

大きさ (mm)	地 域				施 設				職域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
0 ~ 10	6	3	5	14	3	0	6	9	1	24(20.0)
11 ~ 20	4	1	7	12	5	2	14	21	0	33(27.5)
21 ~ 50	3	4	4	11	8	1	8	17	1	29(24.2)
51 ~	2	1	1	4	4	0	5	9	0	13(10.8)
不 明	0	3	8	11	4	0	5	9	1	21(17.5)
計	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120(100.0)

表5 肉眼分類

早期癌	p	sp	s	a	a+ c	c	LST	不明	計
	20	22	14	11	6	3	1	2	79

進行癌	1型	2型	3型	4型	5型	不明	計
	4	29	3	0	0	3	39

表6 深達度

()内%

深 達 度	地 域				施 設				職域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
m	8	8	15	31	5	1	20	26	2	59
sm	3	1	4	8	7	1	3	11	0	19
不 明	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
小 計	11	9	19	39	12	2	24	38	2	79(66.9)
mp	2	2	1	5	1	1	3	5	0	10
ss	2	0	1	3	2	0	6	8	0	11
s	0	1	3	4	6	0	4	10	1	15
不 明	0	0	0	0	3	0	0	3	0	3
小 計	4	3	5	12	12	1	13	26	1	39
不 明	0	0	1	1	0	0	1	1	0	2
計	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120

表7 Dukes分類

()内%

Dukes分類	地 域				施 設				職域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
A	14	10	19	43	12	3	27	42	2	87(72.5)
B	0	1	1	2	6	0	5	11	0	13(10.8)
C	0	1	4	5	5	0	4	9	0	14(11.7)
D	1	0	0	1	1	0	1	2	1	4(3.3)
不明	0	0	1	1	0	0	1	1	0	2(1.7)
計	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120(100.0)

表8 組織型分類

()内%

組織型	地 域				施 設				職域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
Well	11	10	20	41	11	2	26	39	1	81(67.5)
Mod	3	2	3	8	9	1	10	20	1	29(24.2)
Poor	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2(1.7)
不明	0	0	2	2	3	0	2	5	1	8(6.7)
計	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120(100.0)

表9 治療法

()内%

治療方法	地 域				施 設				職域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
外科手術	8	5	9	22	19	2	15	36	1	59
内視鏡治療	7	7	15	29	5	1	22	28	2	59
そ の 他	0	0	1	1	0	0	1	1	0	2
計	15	12	25	52	24	3	38	65	3	120

表10 平成12年度逐年検診発見進行癌

症 例				病 巣					便潜血		前年の精 検	地区	検診
No	氏 名	年齢	性	部位	大きさ (mm)	深達	肉眼型	組織型	前年	当年			
1	K・S	80	f	R(b)	26	mp	2	Well	+ -	+ -	精 検 未 受 診	東部	地域
2	A・K	68	m	S	50	ss	2	Mode	+ +	- +	その他の疾患	東部	施 設
3	K・M	49	m	R(s)	48	se	2	Mode	- -	+ +		東部	
4	T・H	75	m	A	50	se	2	Por1	- -	+ -		東部	
5	T・Y	57	f	D	20	不明	2	Well	+ -	+ +	精 検 未 受 診	東部	
6	N・Y	65	f	R(s)	30	mp	2	Mode	- -	+ +		東部	
7	Y・M	63	m	R(a)	55	mp	2	Well	+ +	+ +	その他の疾患	西部	

表11 地区別の比較

		東 部	中 部	西 部
大きさ mm	0~20 (%)	18 (51.4)	6 (50.0)	32 (64.0)
	51以上	6	1	6
	計	35	12	50
治療法	内視鏡 (%)	12 (30.8)	8 (53.3)	37 (60.7)
	外科	27	7	24
早期率	早期癌 (%)	23 (59.0)	11 (73.3)	43 (68.3)
	発見癌	39	15	63

6. 肝 臓 が ん 検 診

1. 肝臓がん検診実績

平成12年度は26市町村で実施し、対象者数（基本健康診査の対象者数）は36,660人で、このうち受診者数は4,027人で受診率は11.0%であった。

一次検診の結果、要指導者は416人（10.3%）、要精検者は441人（11.0%）であった。

このうち、精密検査を受診したのは282人、精検受診率63.9%であった。また、精検受診者282人のうち、HBs抗原陽性者は79人、HCV抗体陽性者は79人であった。

この結果、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は2人であり、発見率は0.05%であった。

平成7年度～平成12年度の6年間を集計すると、受診者数は66,945人で、そのうちHBs抗原陽性者は1,830人（2.73%）、HCV抗体陽性者は3,056人（4.56%）であった。HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40～59歳が高い傾向は例年と同様であった。

2. 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査結果

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査を平成10年度より行うことになり、平成12年度は27市町村で実施された。

健康指導対象者はB型肝炎ウイルス陽性者が647人、C型肝炎ウイルス陽性者が851人で、このうち受診者数はB型肝炎ウイルス陽性者が303人、C型肝炎ウイルス陽性者が435人であった。

定期検査の結果、慢性肝炎と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が56人（受診者数の18.5%）、C型肝炎ウイルス陽性者が220人（受診者数の50.6%）であった。また、肝硬変と診断された人はB型肝炎ウイルス陽性者が6人（受診者数の2.0%）、C型肝炎ウイルス陽性者が18人（受診者数の4.1%）であった。

肝臓がん疑いまたは肝臓がんと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が3人（受診者数の1.0%）、C型肝炎ウイルス陽性者が8人（受診者数の1.8%）であった。

3. 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

(1) 平成12年度肝臓がん検診によりがん及びがん疑いの者が2名発見され、確定調査の結果確定がんが1名、血管腫が1名であった。がんの1名は、肝炎ウイルス検査では陰性であったが、肝機能異常で、エコーを行いがんが発見された症例である。また、肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査の結果、がん及びがん疑いの者が11名発見され、そのうち5名は過去の検診、定期検査で既にかんと診断されていた。残り6名の確定調査を行った結果、確定がんが5例、脂肪肝が1名であった。

(2) 平成7年度～11年度肝臓がん検診で確定がんが15例、平成10、11年度定期検査確定がんが15例であった。

(1) 平成12年度肝臓がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)		異常認めず	
	男	女	要 指 導		要 精 検		男	女	男	女
			男	女	男	女				
40 ~ 44	(31) 170	(44) 371	(3) 41	(2) 14	(8) 33	(3) 25	19.4	6.7	(20) 96	(39) 332
45 ~ 49	(27) 123	(57) 205	(2) 25	(3) 13	(6) 20	(7) 22	16.3	10.7	(19) 78	(47) 170
50 ~ 54	(27) 173	(48) 371	(6) 41	(1) 31	(5) 25	(2) 33	14.5	8.9	(16) 107	(45) 307
55 ~ 59	(25) 133	(40) 281	(3) 30	(1) 24	(5) 22	(6) 35	16.5	12.5	(17) 81	(33) 222
60 ~ 64	(39) 312	(34) 443	(9) 44	(2) 31	(5) 44	(5) 27	14.1	6.1	(25) 224	(27) 385
65 ~ 69	(41) 283	(37) 355	(5) 43	(4) 23	(4) 32	(2) 30	11.3	8.4	(32) 208	(31) 302
70 ~ 74	(17) 213	(27) 264	(1) 24	(1) 16	(3) 32	(0) 28	15.0	10.6	(13) 157	(26) 220
75 ~ 79	(11) 106	(10) 127	(0) 7	(0) 3	(0) 11	(1) 10	10.4	7.9	(11) 88	(9) 114
80歳以上	(7) 47	(6) 50	(1) 4	(0) 2	(1) 8	(0) 4	17.0	8.0	(5) 35	(6) 44
計	(225) 1,560	(303) 2,467	(30) 259	(14) 157	(37) 227	(26) 214	14.6	8.7	(158) 1,074	(263) 2,096
合 計	(528) 4,027		(44) 416		(63) 441		11.0		(421) 3,170	

()内はウイルス検査のみした人の再掲

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	(3) [2] 16	(7) [4] 12	48.5	48.0
45 ~ 49	(4) [0] 8	(3) [2] 15	40.0	68.2
50 ~ 54	(6) [4] 15	(11) [2] 20	60.0	60.6
55 ~ 59	(1) [1] 14	(8) [5] 24	63.6	68.6
60 ~ 64	(4) [4] 24	(4) [8] 21	54.5	77.8
65 ~ 69	(3) [4] 18	(6) [8] 23	56.3	76.7
70 ~ 74	(7) [9] 24	(5) [13] 22	75.0	78.6
75 ~ 79	(3) [3] 8	(2) [5] 9	72.7	90.0
80歳以上	(1) [2] 5	(1) [3] 4	62.5	100.0
計	(32) [29] 132	(47) [50] 150	58.1	70.1
合 計	(79) [79] 282		63.9	

()内はHBs抗原陽性者の内訳
[]内はHCV抗体陽性者の内訳

年齢		精密検査結果																						
		異常なし		その他の疾病		その他の						疾病				肝臓がん				肝臓がん発見率(%)				
						脂肪肝		HBVキャリア・HCVキャリア		慢性肝炎		肝硬変		アルコール性肝障害		その他の		肝臓がん疑い				肝臓がん		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
40~44	1	0	15	11	7	2	3	9	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.27
45~49	0	1	8	14	2	10	1	2	1	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
50~54	0	2	15	18	1	5	6	11	3	1	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.00
55~59	1	3	13	21	3	5	2	9	1	5	0	0	0	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.00
60~64	2	4	22	17	3	4	5	10	4	3	0	0	0	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0.00
65~69	2	2	15	21	5	6	4	9	2	4	1	0	1	1	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0.35
70~74	2	1	22	21	3	3	12	14	1	3	2	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
75~79	0	0	8	9	1	1	5	5	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
80歳以上	1	0	4	4	1	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.00
計	9	13	122	136	26	36	40	73	15	20	4	1	27	2	10	4	1	1	1	0	0	0	0	0.06
合計	22		258		62		113		35		5		29		14		1		0					0.05

年代別肝炎ウイルス陽性率

年齢区分	一次検診受診者数	HBs抗原陽性者	HBs抗原陽性率(%)	HCV抗体陽性者	HCV抗体陽性率(%)
40~44	541	17	3.1	6	1.1
45~49	328	14	4.3	3	0.9
50~54	544	27	5.0	7	1.3
55~59	414	14	3.4	8	1.9
60~64	755	17	2.3	19	2.5
65~69	638	14	2.2	17	2.7
70~74	477	15	3.1	30	6.3
75~79	233	4	1.7	9	3.9
80歳以上	97	3	3.1	7	7.2
合計	4,027	125	3.1	106	2.6

3) 平成12年度肝臓がん検診受診状況

市町村	対象者		受診者			要指導者			要精密検査者			精検査		検査結果			別人員		
	A	集団 検診 B	施設 検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	集団 検診 F	施設 検診 G	計 H=F+G	集団 検診 I	施設 検診 J	計 K=L+J	要精 査率 (%) L=K/D	精検査 受診者 数 M	精検査 受診率 O=N/M	異常 認めず P	その他 の疾病 Q	がん 疑い R	がん S	異常者 総計 T
倉吉市	2,045	49		49	2.4	5		5	7	7	14.3	4	57.1	0	4	0	0	4	
国府町	347	89		89	25.6	7		(1)	(2)	(2)	16.9	8	53.3	1	7	0	0	7	
福部村	791	11	(1)	(2)	1.5	0	(0)	0	(0)	(0)	25.0	1	33.3	0	1	0	0	1	
郡家町	4,381	17	(1)	(18)	5.1	20	(0)	(1)	(2)	(2)	23.4	35	67.3	4	31	0	0	31	
河原町	324		75	75	23.1		8	8		2	2.7	1	50.0	0	1	0	0	1	
八東町	2,153	60	(0)	(60)	14.7	10	(0)	(2)	(6)	(6)	16.8	46	86.8	2	44	0	0	44	
若桜町	36	36		36	100.0	2		2	10	10	27.8	7	70.0	1	6	0	0	6	
用瀬町	2,934	11	(0)	(11)	1.7	5	(0)	(1)	(0)	(0)	6.0	2	66.7	0	2	0	0	2	
佐治村	27	27		27	100.0	6		6	3	3	11.1	1	33.3	0	1	0	0	1	
鹿野町	710	1	18	19	2.7	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
羽合町	2,228	106	(0)	(106)	14.3	27	(4)	(14)	(10)	(10)	8.5	17	63.0	1	16	0	0	16	
泊村	1,172	27	(0)	(27)	17.1	2	(0)	(0)	(0)	(0)	5.0	1	10.0	0	1	0	0	1	
東郷町	1,566	34	(28)	(62)	21.4	8	(2)	(6)	(6)	(5)	9.0	17	56.7	1	16	0	0	16	
北条町	142		142	142	100.0		29	29		9	6.3	4	44.4	0	4	0	0	4	
大栄町	1,991	72	(125)	(197)	6.3	14	(6)	(14)	(8)	(8)	12.8	13	81.3	1	12	0	0	12	
東伯町	860	60	(570)	(630)	66.3	59	(5)	(5)	(10)	(10)	11.8	25	37.3	0	25	0	0	25	
赤碕町	5,207		55	55	1.1		0	0		2	3.6	2	100.0	0	2	0	0	2	
西伯町	147		40	40	27.2		8	8		3	7.5	1	33.3	0	1	0	0	1	
岸本町	88	3	(88)	(91)	100.0	5	(0)	(0)	(0)	(0)	11.4	6	60.0	0	5	0	1	6	1.14
日吉津村	93	1	(44)	(45)	47.3	1	(0)	(0)	(0)	(0)	15.9	7	100.0	1	6	0	0	6	
淀江町	1,899		155	155	8.2		37	37		16	10.3	12	75.0	1	10	1	0	11	0.65
大山町	2,102	497	86	583	27.7	40	18	58	49	2	8.7	41	80.4	6	35	0	0	35	
中山町	1,829	99	(0)	(99)	14.9	21	(0)	(8)	(12)	(0)	9.6	19	73.1	2	17	0	0	17	
日野町	1,542	0		0	0.0	14	(0)	(0)	(0)	(0)	7.6	6	60.0	0	6	0	0	6	
江府町	1,922	22	(54)	(76)	2.8	6	(0)	(0)	(2)	(2)	14.8	6	75.0	1	5	0	0	5	
溝口町	124	19		19	15.3	0		(0)	(0)	(0)	5.3	0	0.0	0	0	0	0	0	
合計	36,660	2,871	(30)	(498)	11.0	252	(2)	(44)	(58)	(5)	11.0	282	63.9	22	258	1	1	260	0.05

()内はウイルス検査のみした人の再掲

4) 平成7～12年度年代別肝臓がん検診結果

年 齢	一次検診受診者数 (人)		HBs抗原陽性者 (人)		HBs抗 原 陽 性 率 (%)		HCV抗体陽性者 (人)		HCV抗体陽性率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	1,426	2,969	71	99	4.98	3.33	31	38	2.17	1.28
45 ~ 49	1,609	3,568	89	151	5.53	4.23	30	86	1.86	2.41
50 ~ 54	1,418	4,088	80	169	5.64	4.13	24	140	1.69	3.42
55 ~ 59	1,594	5,019	60	170	3.76	3.39	56	209	3.51	4.16
60 ~ 64	3,668	7,971	110	173	3.00	2.17	154	420	4.20	5.27
65 ~ 69	4,733	8,313	119	172	2.51	2.07	245	454	5.18	5.46
70 ~ 74	4,009	6,593	74	124	1.85	1.88	246	382	6.14	5.79
75 ~ 79	2,154	3,759	48	62	2.23	1.65	127	201	5.90	5.35
80歳以上	1,538	2,516	17	42	1.11	1.67	98	115	6.37	4.57
計	22,149	44,796	668	1,162	3.02	2.59	1,011	2,045	4.56	4.57
合 計	66,945		1,830		2.73		3,056		4.56	

(2) 平成7年度から11年度肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者の定期検査結果

1) 平成12年度B型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成12年4月1日現在の 実人数)		受診者数 (平成13年3月31日現在の 実人数)		定期検査結果																									
	男	女	男	女	健康		慢性肝炎		脂肪肝		導		対象者		診断		結果													
	無症候性 キャリア	無症候性 キャリア	脂	肪	肝	炎	慢性	肝炎	肝	硬	変	アル	コ	ー	ル	性	肝	臓	が	ん	疑	い	肝	臓	が	ん	其	他		
40~44	19	24	3	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
45~49	26	40	4	13	1	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50~54	40	65	4	22	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	
55~59	27	48	8	14	1	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
60~64	42	61	17	26	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
65~69	40	66	8	32	2	2	6	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
70~74	27	53	9	18	1	5	4	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
75~79	17	25	6	8	0	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	12	15	5	7	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	250	397	64	144	6	13	27	29	3	3	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	647		208		19		56		6		1		2		1		6		1		5		3		1		4			

2) 平成12年度C型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成12年4月1日現在の 実人数)		受診者数 (平成13年3月31日現在の 実人数)		定期検査結果																									
	男	女	男	女	健康		慢性肝炎		脂肪肝		導		対象者		診断		結果													
	無症候性 キャリア	無症候性 キャリア	脂	肪	肝	炎	慢性	肝炎	肝	硬	変	アル	コ	ー	ル	性	肝	臓	が	ん	疑	い	肝	臓	が	ん	其	他		
40~44	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	6	12	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	10	29	0	6	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	7	48	1	4	0	1	0	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60~64	40	88	2	13	0	5	9	23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	56	136	5	29	1	2	13	44	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	64	138	13	36	1	3	15	36	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	51	78	6	15	2	0	18	20	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	35	43	9	15	1	0	4	5	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	276	575	36	119	5	11	60	160	4	14	2	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
合計	851		155		16		220		18		2		3		5		2		2		6		8		14					

	健康指導 対象者数	定期検査 受診者数	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん疑い または肝臓がん
B型肝炎ウイルス陽性者	647	303	56 (18.5%)	6 (2.0%)	3 (1.0%)
C型肝炎ウイルス陽性者	851	435	220 (50.6%)	18 (4.1%)	8 (1.8%)

(3) 平成12年度肝臓がん検診等発見がん患者追跡調査結果について

1) 平成12年度肝臓がん検診発見癌または癌疑いおよび定期検査(がん疑いまたはがん)

(検診発見癌または癌疑い)

	年齢	性	診断	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	AFP
1	43	女	血管腫								B	3
2	69	男	肝癌	切除	00.12.23	単発	S8	50×50	腫瘤	無		5.023

(定期検査による発見癌または癌疑い)

3	64	女	肝癌	TAI	99.10.4	>4個	S23457	10×10	腫瘤	有	C	62
4	75	男	肝癌	TAE	00.4.19	単発	S7	30×30	腫瘤	無	C	0
5	75	男	肝癌	TAE	97.11	>4個	S4568	25×25	腫瘤	有	C	36.5
6	86	男	肝癌	PEIT	00.8.18	単発	S4	15×15	腫瘤	無	C	16
7	70	女	肝癌		00.7.2						C	2.545同月死亡
8	64	男	脂肪肝								B	2.1

2) 平成10年、11年度肝炎ウイルス陽性者定期検査による発見癌追跡調査報告

	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考
1	71	男	切除	95.8	単発			腫瘤	有	C	
2	63	男	切除	97.2.26	単発	S8	30×30	腫瘤	有	C	4年6か月後死亡
3	71	男	TAE	97.7.16	2個	S6,8	30×30	腫瘤	無	C	TAE2回、無再発
4	63	女	PEIT	97.12.3	単発	S2	10×10	腫瘤	無	C	無再発生存中
5	59	男	TAE	98.5	単発	S8	20×20	腫瘤	有	B	再発、3年2か月後死亡
6	76	女	TAE	98.6.30	単発	S8	30×30	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
7	70	男	切除	98.9.1	単発	S8	40×30	腫瘤	有	C	再発、2年9か月後死亡
8	68	男	MCT	99.1.25	4個	S2377	27×27	腫瘤	有	C	1年6か月後再発
9	83	男	TAE	99.2.11	>4個	S35678	40×30	腫瘤	有	C	11か月後死亡
10	79	男	TAE	99.6.9	単発	S8		浸潤	有	C	8か月後死亡
11	64	男	切除	00.2.8	2個	S5/6,4	75×70	腫瘤	無	C	無再発生存中
12	79	女	TAE	00.3.1	単発	S6	10×10	腫瘤	有	B	5か月後再発
13	66	男	切除	00.9.27	2個	S65	15×15	腫瘤	有	B	無再発生存中
14	82	男	TAE	00.4.5	単発	S4	55×40	腫瘤	有	C	無再発生存中
15	74	女	切除	00.2	単発	S2	32×32	腫瘤	有	C	無再発生存中

3) 平成7年～11年度肝臓がん検診発見癌追跡調査報告

	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備 考
1	74	女	切除	95.10.24	単 発	S4	55×55	腫瘤	有	C	1年6か月後再発
2	70	女	TAE	96.2.20	単 発	S8	40×38	腫瘤	無	C	死亡
3	63	女	切除	96.3.13	単 発	S7	30×23	腫瘤	有	C	無再発生存中
4	83	男	TAE	96.7.15	単 発	S4	12×12	腫瘤	無	C	再発、3年9か月後死亡
5	74	女	TAE	96.8.29	> 4個	S5/6/7/8	35×35	腫瘤	無	C	再発、1年8か月後死亡
6	64	女	TAE	96.10.25	> 4個	S6/7	67×57	腫瘤	無	B	9か月後死亡
7	72	男	TAE	96.11.1	2 個	S6	20×20	腫瘤	有	C	再発、1年1か月後死亡
8	70	男	PEIT	96.11.22	単 発	S5	25×25	腫瘤	有	C	9か月後再発
9	69	男	PEIT	97.1.7	単 発	S7	10×9	腫瘤	無	C	2年6か月後再発
10	73	女	TAE	97.11.17	> 4個	S2/3/4	80×60	腫瘤	無	C	3か月後死亡
11	61	男	TAE	97.11.17	3 個	S5/6/8	15×10	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
12	75	男	TAE	97.12.4	単 発	S7/8	40×32	腫瘤	無	C	7か月後死亡
13	57	男	TAE	98.3.3	単 発	S1	70×50	腫瘤	有	B	1年後死亡
14	80	女	切除	98.7.31	単 発	S5/6	25×25	腫瘤	無	C	9か月後死亡
15	49	男	RES	99.12.15	> 4個	S4/5/6/8	80×80	浸潤	無	B	4か月後死亡

7. 全国がん検診実績との比較

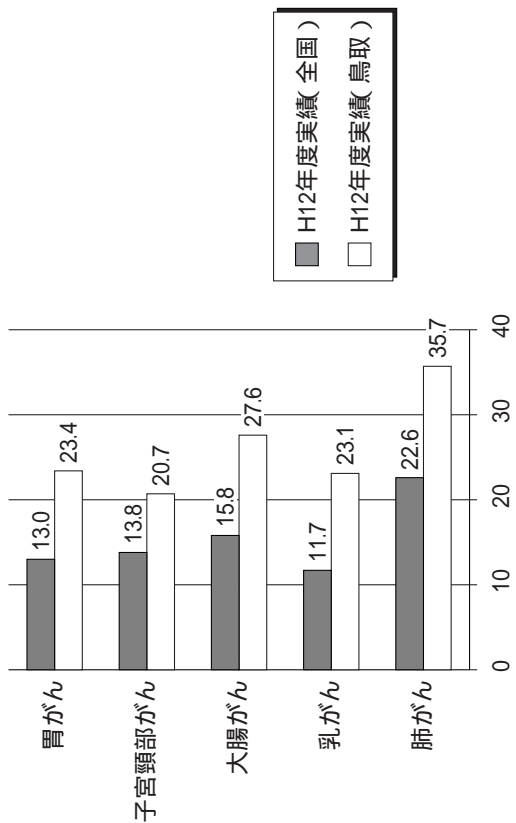
(単位：人 %)

区 分		平成12年度実績(鳥取)	平成12年度実績(全国)
胃 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	172,825	32,259,774
	受 診 者 数(人)	40,357	4,206,543
	受 診 率(%)	23.4	13.0
	要 精 検 者 数(人)	5,150	495,675
	要 精 検 率(%)	14.0	11.8
	精 検 受 診 者 数(人)	3,766	379,536
	精 検 受 診 率(%)	73.1	76.6
	がん又はがんの疑いのある者	87	7,469
	が ん 発 見 率(%)	0.22	0.18
	H 12年度受診率全国順位	11位	
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	124,662	25,848,422
	受 診 者 数(人)	25,797	3,577,540
	受 診 率(%)	20.7	13.8
	要 精 検 者 数(人)	110	33,913
	要 精 検 率(%)	0.43	0.95
	精 検 受 診 者 数(人)	92	22,954
	精 検 受 診 率(%)	83.6	67.7
	がん又はがんの疑いのある者	39	6,755
	が ん 発 見 率(%)	0.15	0.19
	H 12年度受診率全国順位	12位	
肺 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	175,818	32,087,921
	受 診 者 数(人)	62,837	7,267,718
	受 診 率(%)	35.7	22.6
	要 精 検 者 数(人)	311	191,200
	要 精 検 率(%)	0.49	2.63
	精 検 受 診 者 数(人)	242	148,177
	精 検 受 診 率(%)	77.8	77.5
	がん又はがんの疑いのある者	59	6,762
	が ん 発 見 率(%)	0.09	0.09
	H 12年度受診率全国順位	15位	

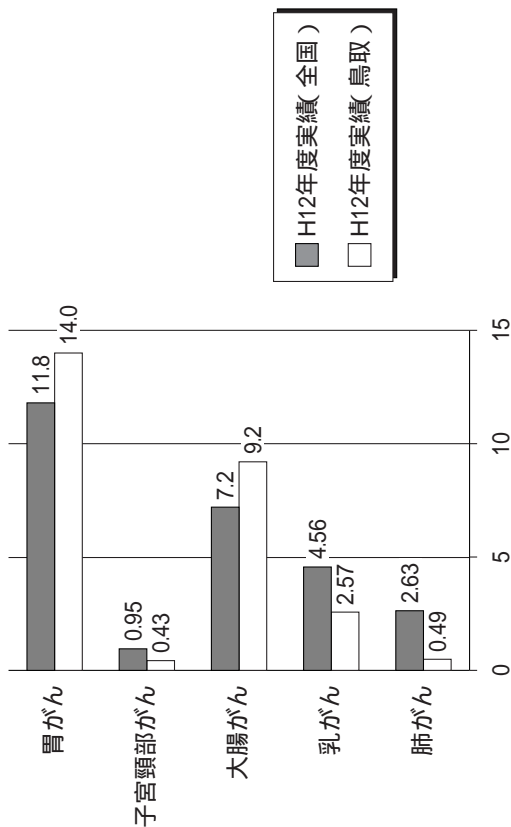
区 分		平成12年度実績（鳥取）	平成12年度実績（全国）
乳 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	127,810	26,444,675
	受 診 者 数（人）	29,532	3,093,798
	受 診 率（％）	23.1	11.7
	要 精 検 者 数（人）	758	117,187
	要 精 検 率（％）	2.57	4.56
	精 検 受 診 者 数（人）	635	91,374
	精 検 受 診 率（％）	83.8	78.0
	がん又はがんの疑いのある者	29	4,950
	が ん 発 見 率（％）	0.10	0.16
	H 12年度受診率全国順位	7位	
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	179,933	34,629,947
	受 診 者 数（人）	49,671	5,480,593
	受 診 率（％）	27.6	15.8
	要 精 検 者 数（人）	4,563	394,225
	要 精 検 率（％）	9.2	7.2
	精 検 受 診 者 数（人）	2,858	233,343
	精 検 受 診 率（％）	62.6	59.2
	がん又はがんの疑いのある者	127	11,903
	が ん 発 見 率（％）	0.26	0.22
	H 12年度受診率全国順位	9位	

老人保健事業健康診査（平成12年度実績）

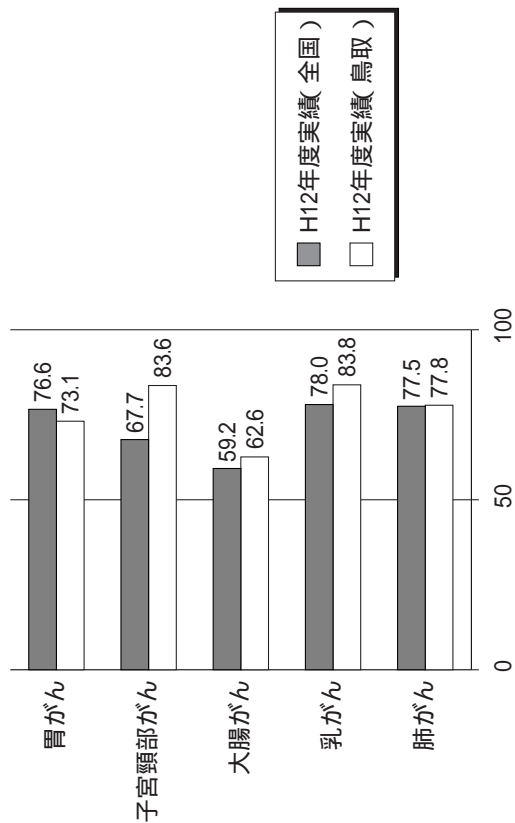
受診率（％）



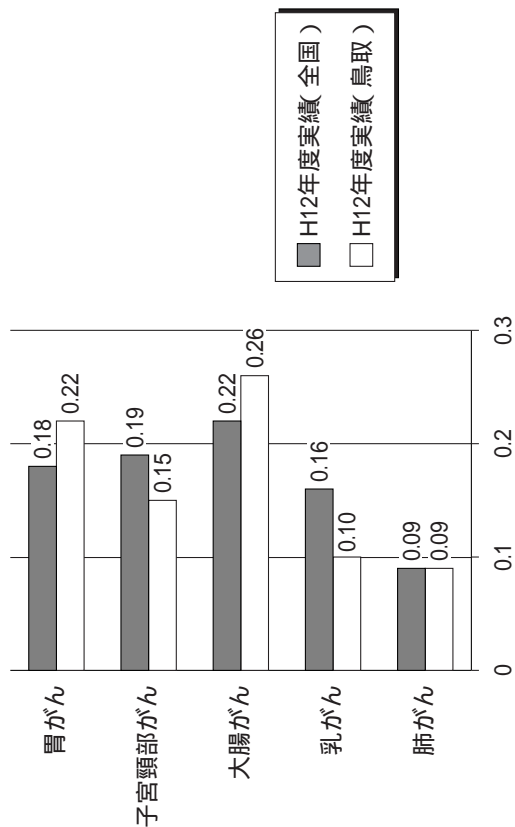
要精検率（％）



精検受診率（％）



がん発見率（％）



**・平成13年度各がん検診従事者講習会及び
症例研究会開催状況**

平成13年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

事	業	名	開催日時	場	所	出席者数	内	容
胃がん	胃がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成14年2月28日(木) 午後4時	米子市 西部医師会		126名	演題「胃がん検診におけるペプシノーゲン法の位置付け」 講師：松江赤十字病院第3内科副部長 井上和彦先生 症例検討 東部 1例：岩美病院 津本順史先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 野口直哉先生 西部 1例：江尾診療所 武地幹夫先生	
子宮がん	子宮がん検診従事者講習会 子宮がん検診症例検討会		平成14年2月14日(木) 午後4時 平成13年12月2日(日) 午後1時	鳥取市 鳥取県健康会館 米子市 西部医師会館		53名 48名	演題：「子宮頸部初期病変の取り扱い」 講師：鳥取大学医学部産科婦人科助手 金森康展先生 症例提示5例	
肺がん	肺がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成14年3月16日(土) 午後4時	米子市 西部医師会館		66名	演題「肺がん検診について 単純写真とマルチスライスCT」 講師：栃木県立がんセンター呼吸器内科医長 森 清志先生 症例検討 東部 1例：鳥取赤十字病院 石倉孝訓先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 吹野俊介先生 西部 1例：国立米子病院 中村廣繁先生	
乳がん	乳がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成13年8月11日(土) 午後3時30分	鳥取市 鳥取県健康会館		95名	演題「マンモグラフィー検診の意義とその実際について」 講師：博愛病院乳腺外科部長 村田陽子先生 症例検討 東部 1例：鳥取市立病院 渡辺直樹先生 東部 1例：鳥取赤十字病院 山口由美先生 西部 1例：博愛病院 佐藤尚喜先生 西部 1例：山陰労災病院 大谷眞二先生	
大腸がん	大腸がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成13年9月13日(木) 午後4時	米子市 西部医師会館		114名	演題：「鳥取県大腸がん検診8年間の成績と今後の問題点」 講師：鳥取県立厚生病院内科医長 佐藤 徹先生 東部 1例：鳥取赤十字病院 山本寛子先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 野口直哉先生 西部 1例：博愛病院 角 賢一先生	
肝臓がん	肝臓がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成14年2月2日(土) 午後4時	鳥取市 鳥取県健康会館		106名	演題「肝臓と細胞外マトリックス代謝」 講師：鳥取大学医学部第2内科教授 村脇義和先生 東部 1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦先生 西部 1例：山陰労災病院 岸本幸廣先生	

1. 胃がん検診症例研究会

日 時 平成14年2月28日(木) 午後4時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：岩美病院 津本 順史

83歳、女性

集検歴：平成10年12月1日 異常なし

平成11年11月4日 異常なし

平成12年11月2日 幽門前庭部大弯進展不良、3、要精検

経 過：平成12年12月11日当院受診。胃内視鏡検査および胃X線検査にて角上部に2型胃癌を認め
た。12月21日胃切術をおこなった。mp、por₁、T₂P₀H₀N₁、stage II、Cur Aであった。

検 討：平成10年、平成11年の集検フィルムでの病変の指摘は困難であり、平成12年のものでは小
腸像と紛らわしいが、病変部のニッシュが指摘された。この症例では、高齢で動作が緩慢
なことに加え、腰椎が極度に変形しており造影が困難であったと考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 野口 直哉

69歳、女性

集検歴：平成11年 異常なし

平成12年 異常なし

平成13年 異常なし

経 過：平成11年より集検を受診している。平成13年5月頃より、心窩部痛が出現したため、集検
をうけるも異常なしとされた。その後も心窩部痛が持続するため近医受診し異常を指摘さ
れ当科紹介受診し入院となった。胃内視鏡検査、胃レントゲン検査より、胃体部大弯に2
型の腫瘍を認めた。

幽門側胃切除術が施行され、腫瘍は4×4cmで2型であった。組織型はpoorly differentiated adenocarcinoma、進達度se₁、リンパ節転移を認めた。

検 討：平成13年集検フィルム

検討では、十分に病変が描出されており、続影可能であるという結果であった。

〔西部症例〕

提出者：江尾診療所 武地 幹夫

72歳、男性

集検歴：平成9年8月 胃集検(車検診) 異常なし

平成10年8月 胃集検(車検診) 異常なし

平成11年8月 胃集検(車検診) 異常なし

平成12年8月 胃集検(車検診) 異常なし

平成13年8月22日 胃集検(車検診)にて異常(幽門前庭部欠損様)を指摘される。

経 過：平成13年9月25日、永原医院にて胃内視鏡検査施行され前庭部に進行胃癌を認められ、山
陰労災病院紹介受診、精査加療目的に入院。

結 果：平成13年10月15日胃切除術施行
前庭部前壁肉眼分類 2 型、2.5×2.5cm
mp、tub₂、P₀H₀N₀M₀、stage Ib

検 討：平成12年集検フィルム

薄層前壁造影の1枚にニッシェ様の所見がわずかに描出されているが、この病変の正確な指摘は困難である。

平成13年集検フィルム

前庭部前壁に中心陥凹を有する隆起性病変を認める。撮影時に明かに指摘された病変であった。

2. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成13年12月2日(日) 午後1時

場 所 鳥取県西部医師会館

挨拶

寺川直樹鳥取県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会長と大石 徹鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会委員長の挨拶があった。

1. 症例検討

鳥取大学医学部産科婦人科学教室助教授 紀川純三先生の進行により、施設検診症例 5例について症例検討が行われた。

平成13年度症例検討会提出症例

氏名	生年月日	市町村名	検診年月日	検診機関名	一次検診判定結果	精検機関名	精検結果	治療機関名
症例1 (K. Y)	S 13 .09 .07	米子市	H 12 .07 .04	国立米子病院	CT MD b	鳥大医学部附属病院	内頸部型腺癌 (Ib期)	鳥大医学部附属病院
			H 11 .08 .06	国立米子病院	CT			
症例2 (S. J)	S 34 .04 .02	気高町	H 12 .07 .15	大石医院	CT ^a MD a	鳥取県立中央病院	微小浸潤癌 (Ia期)	鳥取県立中央病院
			H 10 .07 .11	大石医院	CT			
症例3 (I. M)	S 12 .08 .29	米子市	H 12 .08 .29	鎌沢産婦人科医院	CT ^a MD	鳥大医学部附属病院	非角化型扁平上皮癌 (Ib期?)	富永産婦人科医院
			H 11 .07 .28	鎌沢産婦人科医院	CT			
			H 10 .12 .22	鎌沢産婦人科医院	CT			
			H 09 .08 .21	鎌沢産婦人科医院	CT			
症例4 (A. M)	S 02 .09 .25	気高町	H 12 .10 .17	鳥取県立中央病院	CT 疑陽性 MD 疑陽性	鳥取県立中央病院	類内膜腺癌 (Ib期)	鳥取県立中央病院
症例5 (I. M)	S 25 .09 .25	大栄町	H 12 .10 .11	明島産婦人科医院	MD 疑陽性	鳥大医学部附属病院	類内膜腺癌 (Ia期)	鳥大医学部附属病院

3. 肺がん検診症例研究会

日 時 平成14年3月16日(土) 午後4時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 石倉孝訓

症例：58歳、女性

主訴：胸部X線異常陰影

生活歴：タバコ喫煙歴なし

既往歴：特記事項なし

臨床経過：平成10年の肺がん検診では胸部X線上の異常を指摘されなかった。平成12年9月の検診で右上肺野の腫瘤影を指摘された。CT精査の結果、右S3領域に約2cm大の腫瘤影を認め、CTガイド下針生検では細胞診とともに腺癌と診断された。腫瘍マーカーはSLX 40.6 U/ml、CYFRA 6.2 ng/mlと軽度高値を示した。平成12年12月、右肺上葉切除術を施行。病理組織診断はWell differentiated adenocarcinoma、pT₁N₀M₀、stage IAであった。

症例：76歳、女性

主訴：胸部X線異常陰影

生活歴：タバコ喫煙歴なし

既往歴：特記事項なし

臨床経過：平成11年の肺がん検診では胸部X線上の異常を指摘されなかった。平成12年9月の検診で左下肺野の異常陰影を指摘された。CT精査の結果、左S9-10領域に内部にB9、10の気管支透亮像を呈す約2cm大の腫瘤影を認めた。気管支鏡下擦過・洗浄細胞診ではadenocarcinoma由来の悪性病変が考えられた。腫瘍マーカーに異常値は認めなかった。平成12年12月、左肺下葉切除術を施行。病理組織診断はWell differentiated adenocarcinoma、pT₁N₀M₀、stage IAであった。

病例は胸部X線上、右第6肋骨影に腫瘤影が重なり見おとしやすい症例と考えられたが、2年前の前回検診時には指摘されるべき異常陰影はまったく認めていない。一方、症例は1年前の検診時すでに左下肺静脈に接する淡い異常陰影として病変を指摘し得るが、このためには相当に注意深い読影を要したと考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 吹野俊介

63歳、男性

主訴：胸部X線写真異常陰影

既往歴：平成11年に右腎摘除術を受けた（移植のため）

生活歴：タバコ指数 40本×40年

既往歴：高脂血症で通院中の病院で、平成12年3月2日人間ドックを受け、胸部X線写真は、異常なしとされた。平成13年6月住民検診で胸部X線写真異常陰影の指摘を受け、通院中の病院より同年7月30日、当院へ紹介となった。無症状である。

身体所見：腎摘の創以外に異常所見なし。

検査所見：血清クレアチニン1.5mg/dl以外には、末梢血、尿、一般生化学検査に異常なし。

CEA1.6ng/dl、SCC抗原3.0ng/dl

呼吸機能検査：FVC 4.14L (124.3%)、FEV₁ 2.73L (65.9%)

平成13年の胸部X線写真、胸部CTでは、平成12年にはない陰影を左上肺野に認めるが、硬化像様であった。しかしthin section CTでは胸膜直下に炎症瘢痕以外に腫瘤様に認められる部分があり、dynamic MRIを施行すると、腫瘤様部分は早期より造影され腫瘍を強く疑わせた。

CTガイド下肺生検で扁平上皮癌の診断を得て、平成13年9月5日胸腔鏡下左上葉切除、ND2aリンパ節郭清を行った。左S3a~S1+2aに4×1.5×0.7cmの腫瘍を認めた。腫瘍は胸膜直下の瘢痕組織に取り囲まれた小肺嚢胞内に存在していた。この症例は胸部X線写真異常陰影のほとんどが瘢痕組織を表しているものであった。最終診断は扁平上皮癌、c T₁N₀M₀、p T₂N₀M₀、p₀d₀e₀p_m₀ (p₀)、p Stage IBであった。

肺の硬化性陰影、特に胸膜直下のものは炎症性陰影としてそのまま経過観察となることが多い。本症例もそのひとつであるが、dynamic MRIにて腫瘍を強く示唆する所見が得られて肺生検を行った。thin section CTとともにdynamic MRIも胸膜直下の炎症瘢痕と肺癌を鑑別する有効な検査のひとつと考えられる。

〔西部症例〕

提出者：国立米子病院 中村 廣 繁

症例：55歳、女性

主訴：胸部X線異常陰影

現病歴：平成13年度肺がん検診D判定（右下肺野）。前年度は異常なし。

自覚症状はなし。平成13年12月当院紹介受診。

臨床経過：胸部X線では明らかな異常を指摘できなかった。胸部CTでは右S10に大きな12×10mmの淡いスリガラス陰影（以下GGO）を認めた。中心部に陰影の約50%を占める充実部位を認めた。3ヶ月経過が観察され、再度CTを撮影したところ陰影にはほとんど変化を認めなかった。早期肺がんを強く疑う陰影として、平成14年1月10日、VATSマーカーを挿入した後、胸腔鏡下肺部分切除を行った。病理診断は限局型無気肺で悪性所見は認めなかった。

症例：78歳、女性

主訴：胸部X線異常陰影

現病歴：平成13年度肺がん検診E判定（右上肺野）。振り返れば前年度の胸部X線でも同部位に異常を認めるが、指摘はされなかった。自覚症状はなし。平成13年10月当院紹介受診。

臨床経過：胸部X線で右上肺野に異常陰影あり。また左肺門部にも腫瘤陰影を認めた。胸部CTでは両肺野に淡い多発のGGOと、左S6に腫瘤陰影を認めた。右GGOに対してCTガイド下肺針生検を、左S6に対しては気管支鏡下生検を施行したがともに異常所見を認めず、3ヶ月経過が観察され再度CTを撮影したところ陰影にはほとんど変化を認めなかった。しかし、左S6の陰影は画像上悪性を強く疑うため、平成14年2月5日胸腔鏡下手術を施行した。迅速病理診断で肺腺癌と診断されたためS6区域切除+S1+2部分切除+リンパ節郭清を行った。葉間浸潤と肺門部のリンパ節転移を有する進行肺腺癌であった。

2症例ともに検診で発見されたGGO陰影であったが、1例目は中心部に充実部を合併したにもかかわらず良性病変であり、2例目は多発GGOの他に進行腺癌を合併した症例であった。GGO陰影は早期の腺癌を示すことが多く、特に経過観察で縮小しない陰影は圧倒的に腺癌が多いとされる。しかし、本症例のように、中には良性病変（炎症、器質性肺炎、瘢痕など）や多発病変のこともあり、診断上注意を要すると考えられた。

4 . 乳がん検診症例研究会

日 時 平成13年 8月11日(土) 午後 3時30分

場 所 鳥取県健康会館

〔東部症例〕

提出者：鳥取市立病院 渡 辺 直 樹

74歳、女性

平成11年6月ごろより、右乳房にしこりを自覚。7月16日、乳がん検診を受診された。右乳房C領域に腫瘍を指摘されて、要精査となった。7月19日、当院外来受診。右乳房C領域に触診上直径2cm可動性良好、卵円形の腫瘤を認めた。皮膚浸潤傾向無し、浮腫陰性、筋固定陰性 触知可能なリンパ節を認めなかった。針生検にてsolid tubular adenocaの診断を得て、手術目的にて7月19日入院となった。手術は8月30日、胸筋温存乳房切除を施行されている。(Bt + Ax (Level II)。病理診断はアポクリン癌であり、t₂a n₀ M₀ Stage Iとなった。ER、PgR陰性を材料視し、Oral Drug 5 FU 600mg/day投与にてfollowしている。(2001/08/08 現在存命中)

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 山 口 由 美

前年度、乳がん検診で異常なしとされた、検診発見例につき報告をした。症例は60歳、女性。乳癌検診で左D領域の腫瘤を指摘され、精査目的で来院した。来院時、左D領域に1.4×1.4cmの表面不正、可動性良好の硬い腫瘤を触知したが、腋窩リンパ節は触知しなかった。MMGでは、spiculaや石灰化を伴わない腫瘤影を認め、USでも辺縁不正、縦横比が大の腫瘤影を認めた。MRIを撮影したが、乳管内進展像はみられず、腫瘍は比較的限局したものと判断した。CTにおいても所属リンパ節腫脹や遠隔転移は認めず、T₁N₀M₀ Stage Iの診断で左乳房温存術とLevel IIまでのリンパ節郭清をおこなった。組織型は充実腺管癌で組織学的リンパ節転移も認めなかった。術後の放射線治療後はホルモン剤の内服治療のみで、外来通院中である。患者は毎年乳がん検診を受診しており、早期癌の段階で発見された。患者の予後、医療費の点からも検診が有効であったと考えられる症例であった。

〔西部症例〕

提出者：博愛病院 佐 藤 尚 喜

71歳、女性

毎年、乳がん検診を受けていたが、異常を指摘されたことはなかった。平成11年11月、自己検診を行い右乳房の腫瘤を自覚し、11月25日近医にて乳がん検診を受けた。そこで、右乳房の腫瘍を指摘され要精査となった。11月26日、当院を受診し、右乳房のD領域の3cm大の腫瘍および、C領域の1.5cm大の腫瘍を認め、US、マンモグラフィー、穿刺細胞診にていずれの腫瘍も乳癌と診断し、12月3日胸筋温存乳房切除術を施行した。病理組織は、主病変は乳頭腺管癌で、副病変は硬癌であった。

以上より乳がん検診における自己検診の推奨も乳癌の発見には有効であると思われた。また、検診ならびに精密検査においては複数の病変も考慮した慎重な診察が必要と思われた。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 大 谷 眞 二

前年に要精査とならなかった検診発見乳癌症例

53歳、女性。

平成10年11月、婦人科医院で市の乳がん検診を受診、乳頭分泌が認められたが腫瘤は触知されず、要精査とならなかった。平成11年11月に再び乳がん検診を同院で受けた際、左乳頭直下の腫瘤を指摘

され、当科を受診した。左E領域の径1.5cmの硬い可動性の悪い不整腫瘤が触知された。マンモグラフィにて周辺に広範囲の微細石灰化像を伴う腫瘤陰影が認められ、また、穿刺吸引細胞診はclass Vであった。広範な乳管内進展を伴う乳癌として左胸筋温存乳房切除術（兎玉法）が行われた（T₁N₀M₀、病期Ⅰ、乳頭腺管癌）。腫瘤が小さく乳頭直下であったことが前年に発見されなかった理由として考えられるが、乳頭分泌については年齢等を考慮した上で基本的には要精査とすべきであろう。

5 . 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成13年 9月13日(木) 午後 4時

場 所 鳥取県西部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 山 本 寛 子

76歳、女性

現病歴：平成11年大腸がん検診にて便潜血陽性（-・+）

平成11年 7月10日 当院受診

7月25日 Total colonoscopyにて直腸（Ra）に a様（LST）を認める。

9月7日 同病変をEMR施行

大腸内視鏡検査：直腸（Ra）に花弁状の20mm大の a様（LST NG）を認めた。通常観察では同部位に微小出血点を認めるのみで、病変の全体像は色素散布ではっきりした。さらに拡大観察で癌を疑いEMRを行った。通常観察および拡大観察で深達度はmと判断した。

組織診断：Adenocarcinoma in adenoma（m、ly₀、V₀）

今回の症例で『通常観察の際、わずかな変化をとらえ積極的に色素散布等を行っていかなくてはならない』ということを再認識した。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 野 口 直 哉

80歳、男性

経 過：平成13年 5月12日暗赤色の下血が出現したため、近医受診、注腸検査にて異常を指摘され当科紹介となった。大腸内視鏡にて横行結腸に表面に腫瘍やびらんを伴う巨大な1型の立ち上がりを持つ隆起性病変を認め、精査目的に入院となった。

入院後の注腸検査では、横行結腸に2.5cm大の表面にびらんを伴う1型隆起を認めた。CTでは同部に粘膜下腫瘍様の隆起を認め、脂肪腫を疑った。

手術を行い組織診断より、横行結腸に発生した脂肪腫と診断した。

検 討：大腸内視鏡、注腸透視の検討で、立ち上がりの形状や表面のびらんなどから、上皮性の腫瘍が考えられた。しかし、粘膜下腫瘍も鑑別にあげる必要があると検討された。

〔西部症例〕

提出者：博愛病院 角 賢 一

38歳、女性

現病歴：平成12年 9月 肛門出血あり、近医受診。注腸施行、異常を認めず、痔核の治療施行し経過観察。

平成13年 3月 腹部膨満、体重減少あり再受診。大腸ファイバーにて直腸癌と診断され当院紹介入院となる。

既往歴：平成 4年、卵巣癌手術施行。再発無し。

平成12年 9月 注腸造影：retrospectiveにみて、直腸に一部壁硬化像あり。

平成13年 4月 注腸造影：直腸（Ra Rb）に全周性の狭窄像あり。

大腸内視鏡：2 typeの腫瘍を認める。

平成13年 5月 手術施行。P₀H₃N_{x+y} SE Stage IV

6 . 肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成14年2月2日(土) 午後4時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 松田裕之

68歳、男性

既往歴・家族歴・輸血歴・飲酒歴：特記事項認めず

現病歴：平成7年5月肝臓検診の際、HBs抗原陽性を指摘され、平成7年6月精査のため当院初診、慢性肝炎と診断される。以来、定期経過観察中、平成13年10月超音波検査上肝右葉にSOLを指摘され、精査のため入院。

入院時検査成績：GOT 23U/l、GPT 19U/l、Alb 4.2g/dl、T. Bil 0.8mg/dl、PT84%、ICG 5%、AFP 5ng/ml、HBV DNA (TMA) < 3.7LGE/ml

画像診断のまとめ：超音波検査 S 8 径14mm hypo echoic lesion
ダイナミックCT 同部 iso ~ high ~ iso
ダイナミックMR 同部 T1WI low, T2WI high, early enhancement(+)
DSA 同部 stain (+)
CT AP/CT A 同部 defect and stain (+)

以上より、B型慢性肝炎に合併した肝細胞癌と診断された。

診 断：肝細胞癌、T 1・臨床病期 1 期

治 療：平成13年11月、S 8 部分切除施行。腫瘍径18×16×16mm、中分化型肝細胞癌、非癌部は(F 4、A 1)であった。

考 察：肝臓がん検診によりB型慢性肝炎を指摘され、定期超音波検査により小肝細胞癌が診断された典型的症例。B型肝炎ウイルスの活動性が鎮静化し肝炎が安定化した症例であっても、定期超音波検査による肝癌のスクリーニングが重要であることがあらためて認識された。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦

63歳、男性

家族歴・既往歴・社会歴：特記事項なし。

現病歴：平成7年にC型肝炎を指摘され、IFN治療をすすめられるも拒否。

平成9年からは近医へ転医し、肝庇護療法のみを受けていた。

平成13年2月、腹部超音波で肝S7/8に径9mmの高エコー腫瘍を指摘され、当院紹介となった。

入院時検査成績：T. Bil 0.4mg/dl、PT67%、AST 91IU/l、ALT 131IU/l、AFP 11.1ng/ml、PIVKA II 25AU/ml

画像検査所見：

腹部超音波 S7/8に径9mmの高エコー腫瘍、カラードプラで動脈血流認めず
ダイナミックCT 描出されず
MRI T1WI、T2WI、脂肪抑制、いずれも描出されずout of phaseでS7/8に径10mmの低信号域

DSA 描出されず

これらの所見より、脂肪化を伴う高分化型肝細胞癌を疑った。

確定診断目的で、超音波ガイド下に針生検を行い、脂肪化を伴う高分化型肝細胞癌と診断した。

診 断：高分化型肝細胞癌、臨床病期

治 療：平成13年7月、鳥取大学第二内科でラジオ波焼灼療法を行った。

以後、無再発生存中である。

考 察：慢性C型肝炎の定期的超音波検査によって、根治可能な大きさと発見された症例であった。腹部超音波以外の画像検査で描出が困難な、脂肪化を伴う肝細胞癌が疑われる場合には、out of phaseのMRIが診断に有用と考えられた。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 岸 本 幸 廣

『術後のfollow up超音波検査にて早期に発見できなかった再発肝癌の2例』

昨年、肝臓がん検診症例研究会において、我々は当院で経験した巨大肝癌を検討することにより、検診によるウイルス性肝疾患の囲い込み群におけるfollow up超音波検査が、肝癌の早期発見の為に重要であることを報告した。今回は、術後の肝癌症例を超音波検査で定期的にfollow upしていたのにも拘わらず早期に再発を発見できなかった症例を経験したので報告する。

症例：60歳、女性

平成13年6月8日、肝左葉のほぼ全体を占める、大きさ8×10×10cmの胆管細胞癌の切除術を受けた。平成13年6月27日退院。術後15ヶ月目の7月16日のCT検査では、肝内に再発などの異常所見を認めなかった。9月17日にfollow up超音波検査を受けるも、再発所見なし。その3ヵ月後の超音波検査にて肝S6付近に腫瘤を認めるようになるが、後で見返してみてもこの時点では腫瘤性病変を指摘し得なかった。12月10日の超音波検査およびCT検査にて肝S6に大きさ3～4cmの2個の腫瘤性病変が認められ、胆管細胞癌の再発と診断した。なお、手術時の病理組織所見は中分化型の胆管細胞癌であり、腫瘍細胞が血管内へ浸潤している像が認められた。

症例：75歳、男性

平成8年大腸癌にて手術を受け、その後定期的にfollow upを受けていた。平成13年4月の検査にて肝のS6に腫瘤を指摘され、この時HBs抗原陽性、HBc抗体高力価陽性、HBe抗原陰性、HBe抗体陽性、HBV DNA (TMA法) 測定感度以下、HCV抗体陽性 (groupingI, HCV RNA 4Meq/ml)、肝機能検査は正常であった。平成13年5月9日、肝細胞癌の診断にて手術を受けた。腫瘤の大きさは5×5×5cmであり、病理組織所見では中から低分化型の肝細胞癌で、一部被膜を有しているが、主腫瘤の周囲には娘結節が数個みられ、また癌細胞の血管内への浸潤像も認められた。術後3ヶ月目の8月8日の超音波所見では、全体的に肝内構造がやや粗造であったが腫瘤性病変は認めなかった。その2.5ヵ月後の10月22日の超音波検査では、肝内構造は同様に粗造であり、この時点でも肝内に腫瘤性病変は認めなかった。更に2ヵ月後の12月21日の超音波検査では、肝全体に境界不明瞭な腫瘤性病変を認めた。なお、CT所見で検討すると術後15ヶ月目の6月18日のdynamic CT像では再発所見は認めていないが、術後7ヶ月目の12月17日のdynamic CT像では、肝の両葉ほぼ全体にわたる境界不鮮明なびまん性腫瘤像を認めた。

結語：この2つの症例のように、癌細胞が血管内へ浸潤している肝癌は、より頻回の画像検査と、びまん性浸潤をも考えたfollow upが必要と考えられた。

協力者：西向栄治、村脇義之、神戸貴雅、謝花典子、古城治彦、三浦邦彦、川崎寛中、大谷真二、野坂仁愛、若月俊郎、竹林正孝、鎌迫陽、谷田理、松井克明

7 . 各地区がん検診症例検討会開催状況

事業名	東 部			中 部			西 部			合 計		
	回数	症例数	参加者 述べ数 (人)	回数	症例数	参加者 述べ数 (人)	回数	症例数	参加者 述べ数 (人)	回数	症例数	参加者 述べ数 (人)
胃 が ん	17	36	593	10	25	255	23	3,146	514	50	3,207	1,362
子宮がん												
肺 が ん	4	18	76	9	35	102	11	90	69	24	143	247
乳 が ん	1	8	45	1	5	20	1	8	40	3	21	105
大腸がん	9	12	281	6	15	156	23	286	514	38	313	951
合 計	31回			26回			58回			115回		

・各がん検診精密検査医療機関登録について

平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、がん検診の有効性向上のため、精度管理上、各がん検診精密検査医療機関登録の登録基準について、統一基準が決定し、これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が次のとおり改正され、平成11年度以降の登録更新から適用することとしております。

なお、登録手続きは従来と同様に、地区医師会経由で申請を受付ます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857 27 5566）へお問い合わせ下されば幸いです。

記

1．改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたもののについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2．次回の更新時期

現在、がん検診精密検査登録医療機関の更新期間は2年と3年が混在しているため、協議の結果、3年間に統一することになった。よって、平成14年度に更新した肺がん、乳がん検診精密検査医療機関登録も更新期間を3年間とすることとした。胃がん、子宮がんについては、平成15年度の更新より3年間とする。

また、肺がん医療機関検診実施（一次検診）医療機関登録、乳がん医療機関検診一次検診医登録も更新期間を3年間とすることになった。

名 称	従来の更新期間	次回の更新期間
胃がん検診精密検査	H13.4.1～H15.3.31	H15.4.1～H18.3.31
子宮がん検診精密検査	H13.4.1～H15.3.31	H15.4.1～H18.3.31
肺がん検診精密検査	H12.4.1～H14.3.31	H14.4.1～H17.3.31
乳がん検診精密検査	H12.4.1～H14.3.31	H14.4.1～H17.3.31
大腸がん（注腸X線）	H11.4.1～H14.3.31	H14.4.1～H17.3.31
肝臓がん検診精密検査	H13.4.1～H16.3.31	H16.4.1～H19.3.31
肺がん一次検診	H12.4.1～H14.3.31	H14.4.1～H17.3.31
乳がん一次検診	H13.4.1～H15.3.31	H15.4.1～H18.3.31

鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録実施要綱

- 1 目的
鳥取県胃がん検診実施指針に基づいて市町村が実施する胃がん検診の精密検査医療機関を登録制にすることにより、胃がん検診の精度管理を図る。
- 2 実施方法等
 - (1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録届出書〔以下「届出書」という。〕(様式第1号)を所属の地区医師会を經由して鳥取県健康対策協議会(以下「健対協」という。)に提出する。
 - (2) 健対協は、提出された届出書により、胃がん検診精密検査登録医療機関(以下「登録機関」という。)を取りまとめ、別記「鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会胃がん部会及び鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会(以下「部会等」という。)で登録機関を決定する。
ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって登録機関が決定される場合もあり、その場合、次回部会等で報告がなされる。
 - (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を經由して健対協に届け出る。
 - (4) 届出書は、地区医師会が保管する。
- 3 登録医療機関名簿の作成等
 - (1) 健対協は、上記により決定した登録機関の名簿を作成し、地区医師会、鳥取県健康対策協議会胃がん検診読影委員会(以下「読影委員会」という。)及び県健康対策課に送付する。
 - (2) 県健康対策課は、登録機関の名簿を保健所及び市町村に送付する。
- 4 登録の更新
登録の更新は、原則として3年に1回実施することとし、更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。ただし、現在登録している医療機関の登録期間は、平成15年3月31日までとする。
- 5 庶務
胃がん検診精密検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。
- 6 その他
この要綱に定めるもののほか、胃がん検診精密検査医療機関登録に関して必要な事項は、部会等で定める。

附 則

- この要綱は、平成8年4月1日から適用する。
 この要綱は、平成8年11月28日から適用する。
 この要綱は、平成10年8月11日から適用する。
 この要綱は、平成14年10月から施行し、平成15年度の事業から適用する。

(別記)

鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 精密検査として、内視鏡検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な胃内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 食道、胃内視鏡検査の臨床例が年間50例以上あること。
- 4 精密検査の結果判明後は、胃精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見胃がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 胃がん検診読影委員会が主催する症例検討会に出席すること。
- 7 担当医が、胃がん検診従事者講習会を過去3年間に1度は受講していること。
- 8 担当医が、胃がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。
- 9 関連の各種学会等への参加を通じて、常に胃がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。
- 10 平成14年度末において胃がん検診精密検査医療機関に登録されている機関については、胃がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していれば、登録を認めるものとする。なお、この措置は、平成15年度当初の更新に限り適用するものとする。

(別記)対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
胃がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
胃がん検診症例研究会	東部6回/年 西部2回/年	3点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	3点
胃疾患研究会	東部11回/年	3点
鳥取消化器疾患研究会	東部2回/年	3点
消化器病研究会	中部6回/年	3点
山陰消化器研究会	全県6回/年	3点
消化管研究会	西部22回/年	3点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点

鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録届出書

医療機関名 _____

(診療科名) _____

(ふりがな)

担当医師氏名 _____

所在地(〒 _____)

電話番号(_____) _____

(1) 食道、胃内視鏡

機種 _____ メーカー _____

年間検査臨床例数 _____ 例

(2) 生検組織診断実施(依頼)機関名 _____

(3) 胃がん検診読影委員会主催症例検討会及び胃がん検診従事者講習会等出席状況

過去3年間の出席状況を記入してください

講習会等の区分	出席年 × 出席回数	点数
胃がん検診従事者講習会 (全県 5点)		
胃がん検診症例研究会 (東西部 3点)		
消化器がん検診症例検討会 (中部 3点)		
胃疾患研究会 (東部 3点)		
鳥取消化器疾患研究会 (東部 3点)		
消化器病研究会 (中部 3点)		
山陰消化器研究会 (全県 3点)		
消化管研究会 (西部 3点)		
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会) (3点)		
消化器病学会(全国学会・地方会) (3点)		
消化器集団検診学会(全国学会・地方会) (3点)		
その他(_____)		
合計点数		

当医療機関は、鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録実施要綱に基づく登録必要条件を満たしていますので届け出いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 様

* 担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と(3)を記入した本様式を添付してください。

鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録実施要綱

1 目的

鳥取県子宮がん検診実施要領に基づいて市町村が実施する子宮がん検診の精密検査医療機関を登録制にすることにより、子宮がん検診の精度管理を図る。

2 実施方法等

(1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録届出書〔以下「届出書」という。〕(様式第1号)を所属の地区医師会を経由して鳥取県健康対策協議会(以下「健対協」という。)に提出する。

(2) 健対協は、提出された届出書により、鳥取県子宮がん検診精密検査登録検査医療機関(以下「登録機関」という。)を取りまとめ、別記「鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会及び鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会(以下「部会等」という。)で登録機関を決定する。

ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって登録機関が決定される場合もあり、その場合、次回の部会等で報告がなされる。

(3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を経由して健対協に届け出る。

(4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医療機関名簿の作成等

(1) 健対協は、上記により決定した登録医療機関の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。

(2) 県健康対策課は、登録医療機関の名簿を保健所、保健所支所及び市町村に送付する。

4 登録の更新

登録の更新は原則として3年に1回実施することとし、更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。

5 庶務

子宮がん検診精密検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。

6 その他

この要綱に定めるもののほか、子宮がん検診精密検査医療機関登録に関して必要な事項は、部会等で定める。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から適用する。

この要綱は、平成8年8月8日から適用する。

この要綱は、平成10年8月11日から適用する。

この要綱は、平成14年10月から施行し、平成15年度の事業から適用する。

(別記)

鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録基準

1 コルポスコピーに習熟した医師が対応できること。

2 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。

3 検診の資料及び検診結果は3年以上にわたって整理、保存されること。

4 担当医が、日本産科婦人科学会認定医であること及び子宮がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、子宮がん検診従事者講習会及び子宮がん検診症例検討会に各1回必ず出席していること。

(別記)対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
子宮がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
子宮がん検診症例検討会	全県1回/年	5点

鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録届出書

医療機関名

(診療科名) _____

ふりがな

担当医師氏名 _____

所在地 (〒 _____)

TEL (_____) _____

1 コルポスコープ

機種 _____ 型式 _____

2 平成 _____ 年度のコルポ診施行例数 _____ 例

3 子宮がん検診従事者講習会及び子宮がん検診症例検討会出席状況

過去3年間の出席状況及び取得点数を記入してください。

会 の 名 称	点 数 × 回 数	点 数
子宮がん検診従事者講習会 (5点)	年度 5点 × 回	
	年度 5点 × 回	
	年度 5点 × 回	
子宮がん検診症例検討会 (5点)	年度 5点 × 回	
	年度 5点 × 回	
	年度 5点 × 回	
合 計	点 数	

当医療機関は、鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録に基づく登録必要条件を満たしていますので、届け出いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 _____ 様

* 担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と3を記入し、本様式を添付してください。

鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録実施要綱

1 目的

鳥取県肺がん集団検診実施要領及び鳥取県肺がん医療機関検診実施要領に基づいて市町村が実施する肺がん検診の精密検査医療機関を登録制にすることにより、肺がん検診の精度管理を図る。

2 実施方法等

- (1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録届出書〔以下「届出書」という。〕(様式第1号)を所属の地区医師会を経由して、鳥取県健康対策協議会(以下「健対協」という。)に提出する。
- (2) 健対協は、提出された届出書により、鳥取県肺がん検診精密検査登録医療機関(以下「登録機関」という。)を取りまとめ、別記「鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会肺がん部会及び鳥取県健康対策協議会肺がん対策専門委員会(以下「部会等」という。)で登録機関を決定する。

ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって登録機関が決定される場合もあり、その場合、次回の部会等で報告がなされる。

- (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を経由して健対協に届け出る。
- (4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医療機関名簿の作成等

- (1) 健対協は、上記により決定した登録医療機関の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。
- (2) 県健康対策課は、登録医療機関の名簿を保健所及び市町村に送付する。

4 登録の更新

登録の更新は原則として3年に1回実施することとし、更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。ただし、現在登録している医療機関の登録期間は、平成17年3月31日までとする。

5 庶務

肺がん検診精密検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。

6 その他

この要綱に定めるもののほか、肺がん検診精密検査医療機関登録に関して必要な事項は、部会等で決める。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から適用する。

この要綱は、平成8年7月25日から適用する。

この要綱は、平成10年8月11日から適用する。

この要綱は、平成12年8月24日から適用する。

この要綱は、平成14年10月から施行し、平成14年度の事業から適用する。

(別 記)

鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 胸部エックス線撮影、CT撮影が可能であること。
- 2 気管支ファイバースコープ検査が施行でき、かつBF下細胞診が可能であること。
- 3 精検のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 4 精密検査の結果判明後は、紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見肺がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 7 担当医が、肺がん検診従事者講習会を過去3年間に1回以上受講していること。
- 8 関連各種学会等への参加を通じて、常に肺がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録届出書

医療機関名
 (診療科名) _____
 (ふりがな)
 担当医師氏名 _____

所在地
 (〒 _____) _____

TEL (_____)

検査実施状況	可	否	年間例数
(1) 胸部X線撮影、CT撮影	可	否	
(2) 気管支ファイバースコープ検査	可	否	例
(2) BF下細胞診	可	否	例
(4) 経皮肺生検	可	否	例

肺がん従事者講習会出席状況

過去3年間の状況に該当するものに をしてください。

平成 年度 出 欠
 平成 年度 出 欠
 平成 年度 出 欠

当施設は、鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録実施要綱に基づく登録要件を満たしていますので、届出いたします。

平成 年 月 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 様

担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と講習会出席状況を記入し、本様式を添付してください。

鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録実施要綱

1 目的

鳥取県乳がん検診実施要領に基づいて市町村が実施する乳がん検診の精密検査医療機関を登録制にすることにより、乳がん検診の精度管理を図る。

2 実施方法等

- (1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録届出書〔以下「届出書」という。〕(様式第1号)を所属の地区医師会を経由して鳥取県健康対策協議会(以下「健対協」という。)に提出する。
- (2) 健対協は、提出された届出書により、鳥取県乳がん検診精密検査医療機関(以下「登録機関」という。)を取りまとめ、別記「鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会乳がん部会及び鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会(以下「部会等」という。)で登録機関を決定する。ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって登録機関が決定される場合もあり、その場合、次回の部会等で報告がなされる。
- (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を経由して健対協に届け出る。
- (4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医療機関名簿の作成等

- (1) 健対協は、上記により決定した登録医療機関の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。
- (2) 県健康対策課は、登録医療機関の名簿を保健所、保健所支所及び市町村に送付する。

4 登録の更新

登録の更新は原則として3年に1回実施することとし、更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。ただし、現在登録している医療機関の登録期間は、平成17年3月31日までとする。

5 庶務

乳がん検診精密検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。

6 その他

この要綱に定めるもののほか、乳がん検診精密検査医療機関登録に関して必要な事項は、部会等で定める。

[附則 1]

- この要綱は、平成8年8月3日から適用する。
 この要綱は、平成8年12月5日から適用する。
 この要綱は、平成10年8月11日から適用する。
 この要綱は、平成14年度10月から施行し、平成14年度の事業から適用する。

(別記)

鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 医療施設内に乳房用エックス線撮影装置(「以下「乳房撮影装置」という。))及び乳房専用超音波検査装置を有すること。
- 2 同一施設内で乳房造影、細胞診等の乳がん検査が可能であること。
- 3 精密検査結果判明後は、乳がん精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに当該市町村に送付すること。
- 4 発見乳がんに関して健対協が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 5 担当医は、県、健対協、医師会が主催する乳腺疾患関係の研修会、症例検討会に積極的に参加し、乳がん研究会等各種集会への参加を通じて常に乳がん検診に関する学術的情報の補足に努めることとし、できれば日本乳癌学会の認定医であることが望ましい。
 また、乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に20点以上取得していること。ただし、「乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会」、「各地区症例検討会」、「鳥取県乳腺疾患研究会」以外の学会、研究会については、出席した事が証明できる書類等の写しを添付すること。
- 6 上記の参加条件に不備、不足があった場合には登録更新を認めない。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会	全県1回/年	5点
日本乳癌学会	1回/年	5点
日本乳癌検診学会	1回/年	5点
各地区症例検討会	東・中・西部各1回/年	3点
中国・四国乳腺研究会	1回/年	3点
山陰乳癌研究会	1回/年	3点
鳥取県乳腺疾患研究会	1回/年	3点
その他乳癌関連学会、研究会等		3点

[附則 2]

- 1 責任者の欠員を生じた医療機関は遅滞なく、地区医師会を通じ、健対協に継続の意志の有無を届け出ることとし、適格な責任者がなければ登録資格は喪失するものとする。
- 2 部会等の長は、これらの医療機関に対して、必要に応じて届出機器で撮影した乳房エックス線像の提出を求めることができる。
- 3 超音波診断装置は乳房疾患診断可能な周波数(MHz)の異なる複数のプローブが必要である。
- 4 健対協は、委員会の審議までに委員長の指名する2名の委員に届出機関の視察を依頼し、その結果を委員会での審議の資料とする。

鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録（更新）届出書

医療機関名 _____

ふりがな

担当医師氏名

（総括の責任者にをつける）

所在地（〒 _____）

TEL（ _____ ）

1. 乳房用エックス線装置

メーカー _____

機種型式 _____

購入年度 _____ 年度

2. 乳房専用超音波検査装置

メーカー _____

機種型式 _____

プローブ周波数① _____ ② _____ ③ _____ MHz 購入年度 _____ 年度

1、2については、更新の場合は購入年度のみ記入することとし、新規届出の場合は、明細を記入してください。

3. 乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会等出席状況

過去3年間の出席状況及び取得点数を記入してください。

会 名 称	点 数 × 回 数			合 計 点 数
	年度	年度	年度	
乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会 (5点)	5点× 回	5点× 回	5点× 回	点
日本乳癌学会 (5点)	5点× 回	5点× 回	5点× 回	点
日本乳癌検診学会 (5点)	5点× 回	5点× 回	5点× 回	点
各地区症例検討会 (3点)	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
中国・四国乳腺研究会 (3点)	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
山陰乳癌研究会 (3点)	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
鳥取県乳腺疾患研究会 (3点)	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
その他乳癌関連学会、研究会 (3点) ()	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
	3点× 回	3点× 回	3点× 回	点
合 計	点 数			

4. 論文を作成または発表された先生（共同研究を含む）は、標題、誌名、巻、号、頁、年次、筆頭著者名を記入してください。（別冊または別冊写しでも可）

標題「 _____ 」

誌名「 _____ 」

巻 号 頁 年

著 者

共同研究者

当医療機関は、鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録に基づく登録必要条件を満たしていますので、届け出いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 様

* 担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と3を記入し、本様式を添付してください。

鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録実施要綱

1 目的

鳥取県大腸がん検診実施要領に基づいて市町村が実施する大腸がん検診の精密検査医療機関を登録制にすることにより、大腸がん検診の精度管理を図る。

2 実施方法等

- (1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録届出書〔以下「届出書」という。〕(様式第1号)を所属の地区医師会を經由して鳥取県健康対策協議会(以下「健対協」という。)に提出する。
- (2) 健対協は、提出された届出書により、大腸がん検診精密検査登録医療機関(以下「登録機関」という。)を取りまとめ、別記「鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会大腸がん部会及び鳥取県健康対策協議会大腸がん対策専門委員会(以下「部会等」という。)で登録機関を決定する。
ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって決定される場合もあり、その場合、次の部会等で報告がなされる。
- (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を經由して健対協に届け出る。
- (4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医療機関名簿の作成等

- (1) 健対協は、上記により決定した登録機関の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。
- (2) 県健康対策課は、登録機関の名簿を保健所及び市町村に送付する。

4 登録の更新

登録の更新は、原則として3年に1回実施することとし、更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。ただし、現在登録している医療機関の登録期間は、平成17年3月31日までとする。

5 庶務

大腸がん検診精密検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。

6 その他

この要綱に定めるもののほか、大腸がん検診精密検査医療機関登録に関して必要な事項は、部会等で定める。

附 則

- この要綱は、平成8年4月1日から適用する。
この要綱は、平成8年11月28日から適用する。
この要綱は、平成10年8月11日から適用する。

(別 記)

鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 全大腸内視鏡検査が実施できるか又はS状結腸内視鏡検査及び注腸エックス線検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 内視鏡検査の臨床例が年間30例以上あること。
- 4 注腸エックス線検査を実施する場合には、次の基準にあうエックス線装置を有すること。
(1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
(2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)。
(3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。
- 5 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。
- 6 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 7 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 8 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 9 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 10 担当医が、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、大腸がん検診従事者講習会に1回必ず出席していること。
- 11 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記)対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
大腸がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
胃がん検診症例研究会	東部6回/年	2点
胃疾患研究会	東部11回/年	1点
消化器病研究会	中部6回/年	2点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	2点
消化管研究会	西部22回/年	1点
山陰消化器研究会	全県6回/年	2点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点

鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録実施要綱

1 目的

鳥取県大腸がん検診実施要領に基づいて市町村が実施する大腸がん検診の精密検査医療機関は、別に定める「鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録実施要綱」によるものとするが、暫定措置として注腸エックス線検査による二次的スクリーニング検査も実施できることとし、注腸エックス線検査医療機関も登録制にすることにより、大腸がん検診の精度管理を図る。

2 実施方法等

- (1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録届出書〔以下「届出書」という。(様式第1号)〕を所属の地区医師会を経由して鳥取県健康対策協議会(以下「健対協」という。)に提出する。
- (2) 健対協は、提出された届出書により、大腸がん検診注腸エックス線検査登録医療機関(以下「登録機関」という。)を取りまとめ、別記「鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会大腸がん部会及び鳥取県健康対策協議会大腸がん対策専門委員会(以下「部会等」という。)で登録機関を決定する。ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって決定される場合もあり、その場合、次の部会等で報告がなされる。
- (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を経由して健対協に届け出る。
- (4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医療機関名簿の作成等

- (1) 健対協は、上記により決定した登録機関の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。
- (2) 県健康対策課は、登録機関の名簿を保健所及び市町村に送付する。

4 登録の更新

登録の更新は、原則として3年に1回実施することとし、更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。ただし、現在登録している医療機関の登録期間は、平成17年3月31日までとする。

5 庶務

大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。

6 その他

この要綱に定めるもののほか、大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録に関して必要な事項は、部会等で定める。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から適用する。
この要綱は、平成10年8月11日から適用する。

(別記)

鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録基準

1 次の基準にあうエックス線撮影装置で注腸エックス線検査が実施できること。

- (1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
- (2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)
- (3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。

2 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。

3 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。

4 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。

5 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。

6 精検症例を部会等に提出して討議できること。

7 担当医が、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、大腸がん検診従事者講習会に1回必ず出席していること。

8 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
大腸がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
胃がん検診症例研究会	東部6回/年	2点
胃疾患研究会	東部11回/年	1点
消化器病研究会	中部6回/年	2点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	2点
消化管研究会	西部22回/年	1点
山陰消化器研究会	全県6回/年	2点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点

鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録届出書

医療機関名 _____ 診療科名 _____

担当医師氏名 _____ 電話番号 (_____)

所在地 (〒 _____)

検査実施状況等

区 分	検査実施の 可 否	処 理 可 能 件数/月間	工 ッ ク ス 線 装 置 機 種 名 ・ メ ー カ ー
全大腸内視鏡検査	可・否		内視鏡
S状結腸内視鏡検査	可・否		内視鏡
注腸エックス線検査	可・否		(小焦点 mm 大焦点 mm)
組織診検査	可・否		

生検組織診断実施(依頼)機関名 _____

内視鏡検査臨床例数 _____ 例/年

大腸がん検診従事者講習会等出席状況

* 過去3年間の出席状況及び取得点数を記入してください。

講 習 会 等 の 区 分	出 席 回 数			点 数
	年 度	年 度	年 度	
大腸がん検診従事者講習会 (全県 5点)	回	回	回	
各地区大腸がん検診従事者講習会 (東中西部 2点)	回	回	回	
消化器疾患研究会 (東部 2点)	回	回	回	
胃がん検診症例研究会 (東部 2点)	回	回	回	
胃疾患研究会 (東部 1点)	回	回	回	
消化器病研究会 (中部 2点)	回	回	回	
消化器がん検診症例検討会 (中部 2点)	回	回	回	
消化管研究会 (西部 1点)	回	回	回	
山陰消化器研究会 (全県 2点)	回	回	回	
消化器内視鏡学会 (2点)	回	回	回	
消化器病学会 (2点)	回	回	回	
消化器集団検診学会 (2点)	回	回	回	
その他(消化器関連の学会含)	回	回	回	
合 計 点 数				

(については受講票または参加証の写しを添付すること)

当医療機関は、鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録実施要綱に基づく登録必要条件を満たしていますので届け出いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 様

担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と大腸がん検診従事者講習会等出席状況を記入した本様式を添付してください。

鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録届出書

医療機関名 _____ 診療科名 _____
 (ふりがな)
 担当医師氏名 _____ 電話番号 (_____)
 所在地 (〒 _____)

検査実施状況等

区 分	検査実施の 可 否	処 理 可 能 件数/月間	エ ッ ク ス 線 装 置 機 種 名 ・ メ ー カ ー
注腸エックス線検査	可・否		(小焦点 mm 大焦点 mm)

大腸がん検診従事者講習会等出席状況

* 過去3年間の出席状況及び取得点数を記入してください。

講 習 会 等 の 区 分	出 席 回 数			点 数
	年 度	年 度	年 度	
大腸がん検診従事者講習会 (全県 5点)	回	回	回	
各地区大腸がん検診従事者講習会 (東中西部 2点)	回	回	回	
消化器疾患研究会 (東部 2点)	回	回	回	
胃がん検診症例研究会 (東部 2点)	回	回	回	
胃疾患研究会 (東部 1点)	回	回	回	
消化器病研究会 (中部 2点)	回	回	回	
消化器がん検診症例検討会 (中部 2点)	回	回	回	
消化管研究会 (西部 1点)	回	回	回	
山陰消化器研究会 (全県 2点)	回	回	回	
消化器内視鏡学会 (2点)	回	回	回	
消化器病学会 (2点)	回	回	回	
消化器集団検診学会 (2点)	回	回	回	
その他(消化器関連の学会含)	回	回	回	
合 計 点 数				

(については受講票または参加証の写しを添付すること)

当医療機関は、鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録実施要綱に基づく登録必要条件を満たしていますので届け出いたします。

平成 年 月 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 様

担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と大腸がん検診従事者講習会等出席状況を記入した本様式を添付してください。

鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録実施要綱

1 目的

鳥取県肝臓がん検診等実施要領に基づいて市町村が実施する肝臓がん検診の精密検査医療機関を登録制にすることにより、肝臓がん検診の精度管理を図る。

2 登録方法等

- (1) 登録を希望する医療機関は、鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録届出書（以下「届出書」という。）（様式第1号）を所属の地区医師会を經由して鳥取県健康対策協議会（以下「健対協」という。）に提出する。
- (2) 健対協は、提出された届出書により肝臓がん検診精密検査登録医療機関（以下「登録機関」という。）を取りまとめ、別記「鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録基準」により、鳥取県肝臓がん抑制対策評価委員会（以下「評価委員会」という。）及び鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会（以下「専門委員会」という。）で、登録機関を決定する。
ただし、評価委員会及び専門委員会は年2回しか開催されないことから、評価委員会委員長及び専門委員会委員長により登録機関を決定し、次回の両委員会で承認を受ける場合もある。
- (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を經由して健対協に届け出る。
- (4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医療機関名簿の作成等

- (1) 健対協は、上記により決定した登録機関の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。
- (2) 県健康対策課は、登録機関の名簿を各保健所、保健所支所及び各市町村に送付する。

4 庶務

肝臓がん検診精密検査医療機関登録に関する事務は、健対協において行う。

5 その他

この要綱に定めるもののほか、肝臓がん検診精密検査医療機関登録に関して必要な事項は、評価委員会及び専門委員会で定める。

附 則 この要綱は、平成10年度から適用する。

（別記）

鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
- 2 検診の資料及び結果は3年以上保存されること。
- 3 精密検査として、少なくとも血小板検査、超音波検査、アルファフェトプロテイン（AFP）検査及びHCV RNA検査（アンプリコア定性法）が実施できること。
- 4 次の基準にあう超音波検査機器を有し、かつ超音波検査に習熟した医師が対応できること。
 - (1) 走査方式は、電子コンベックス方式が可能であること。
 - (2) プロローブは、128素子以上の高密度多素子プロローブであること。
 - (3) 2系統以上の距離計測機能を有していること。
 - (4) ポラロイド撮影装置、プリンター、マルチフォーマットカメラのいずれかの画像記録装置を有していること。
 - (5) 観察用モニターは、9インチ以上であること。
- 5 腹部超音波検査の臨床例が年間200例以上あること。
- 6 担当医が、肝臓がん検診従事者講習会等の受講点数を、過去3年間に10点以上取得していること。ただし、肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会に各1回必ず出席していること。

（別記）対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会	全県1回/年	5点
山陰肝・胆・膵研究会	全県1回/年	2点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
東部地区腹部超音波研究会	東部4回/年	2点
腹部画像診断研究会	中部6回/年	2点
肝炎治療セミナー	中部2回/年	2点
肝・胆・膵研究会	西部6回/年	2点
消化器超音波研究会	西部4回/年	2点
西部腹部超音波研究会	西部2回/年	2点

（注）上記以外の講習会等については、評価委員会及び専門委員会においてその都度協議することとする。

鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録届出書

医療機関名
(診療科名) _____

担当医師氏名
(ふりがな)

所在地(〒 _____)

TEL (_____)

(1) 超音波検診機器

機種 _____ メーカー _____
走査方式 _____ プローブ _____ 素子
画像記録装置 _____ 観察用モニター _____ インチ

(2) 腹部超音波検査臨床例

_____ 例/年

(3) 肝臓がん検診従事者講習会等出席状況

過去3年間の出席状況及び取得点数を記入してください。

講習会等の区分	出席年 × 出席回数			点数
肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会 (全県 5点)				
山陰肝・胆・膵研究会 (全県 2点)				
消化器疾患研究会 (東部 2点)				
東部地区腹部超音波研究会(東部 2点)				
腹部画像診断研究会 (中部 2点)				
肝炎治療セミナー (中部 2点)				
肝・胆・膵研究会 (西部 2点)				
消化器超音波研究会 (西部 2点)				
西部腹部超音波研究会 (西部 2点)				
その他 (_____)				
合計点数				

当施設は、鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録実施要綱に基づく登録要件を満たしていますので、届け出いたします。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会会長 様

担当医師が複数の場合は、医師ごとに担当医師氏名と(3)を記入した本様式を添付してください。

鳥取県肺がん医療機関検診実施（一次検診）医療機関登録

医療機関の主な注意事項

(1) 検診項目

- ① 問診
- ② 胸部写真撮影
- ③ 喀痰検査対象者の選定及び喀痰容器配布

* 喀痰検査対象者：原則として、次のいずれかに該当する者とする。

- ア 年齢50歳以上で喫煙指数（一日本数×年数）600以上の者。
- イ 6か月以内に血痰のあった者。
- ウ 上記の他、医師が必要と認めた者。

(2) 検査方法

- ① 問診
- ② 胸部エックス線写真撮影
 - ・被検者との管球距離を1.5m以上とし、定格出力150kV以上の撮影装置を用い、希土類システム（希土類の増感紙及びオルソタイプのフィルム）により、120kV以上の高圧撮影とする。
 - ・直接撮影大角1枚。
 - ・読影は必ず各地区肺がん検診読影会で実施。
検診実施医療機関の医師が胸部エックス線写真を持参し、読影会に参加する。その際、必要に応じて、比較読影フィルムを持参すること。
- ③ 喀痰検査
 - ・3日間蓄痰法。
 - ・喀痰検査はすべて財団法人鳥取県保健事業団に委託。

(3) 結果報告

検診結果を「肺がん検診票」に記入し、原則として、当該月に実施した検診分を翌月15日までに、検診料請求書と併せて該当市町村に送付する。

鳥取県肺がん医療機関検診実施届出書

医療機関名
(診療科) _____
(ふりがな)
担当医師氏名 _____

所在地(〒 _____) _____

TEL (_____) _____

胸部エックス線撮影装置	
機種名	メーカー _____
被検者との管球距離	m _____
撮影装置定格出力	kV _____
撮影電圧設定値	kV _____
フィルム	規格名 _____ メーカー _____
増感紙	規格名 _____ メーカー _____
胸部エックス線フィルム読影	
胸部エックス線フィルムは読影会にすべて持参する。	
喀痰検査：喀痰検査はすべて(財)鳥取県保健事業団に委託する。	

* 記載いただいた機種については、管轄保健所に届出られている機種と照合いたしますので、このたび届出される装置と保健所に届けてある装置が異なる場合は、すみやかに更新手続きを行ってください。

当施設は、上記条件を含む、鳥取県肺がん医療機関検診実施要領に基づき、肺がん検診を実施できますので、届け出いたします。

その他参考項目

現像 機種名 _____ メーカー _____
胸部単純エックス線撮影の1か月の平均撮影枚数 _____ 枚
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設長氏名 _____ 印

鳥取県健康対策協議会長 殿

鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録実施要綱

1 目的

鳥取県乳がん検診実施指針に基づいて市町村が実施する乳がん検診の一次検診医を登録制にすることにより、乳がん検診受診機会の拡大及び検診精度の向上を図ることを目的とする。

2 実施方法等

- (1) 登録を希望する医師は、鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録届出書〔以下「届出書」という（様式第1号）〕を所属の地区医師会を経由して鳥取県健康対策協議会（以下「健対協」という。）に提出する。
- (2) 健対協は、提出された届出書により、鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医（以下「登録医」という。）を取りまとめ、別記「鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準」により、鳥取県成人病検診管理指導協議会乳がん部会及び鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会（以下「部会等」という。）で登録医を決定する。
ただし、部会等は年2回しか開催されないことから、部会等の長によって登録医が決定される場合もあり、その場合、次回の部会等で報告がなされる。
- (3) 登録を辞退するときは、所属の地区医師会を経由して健対協に届け出る。
- (4) 届出書は、地区医師会が保管する。

3 登録医名簿の作成等

- (1) 健対協は、上記により決定した登録医の名簿を作成し、地区医師会及び県健康対策課に送付する。
- (2) 県健康対策課は、登録医療機関の名簿を保健所及び市町村に送付する。

4 登録の更新

- (1) 登録の更新は原則として3年に1回実施することとし、平成15年度当初から適用する。
- (2) 年度途中で登録された者の登録期間は、次の更新時期までの期間とする。
- (3) 更新手続きは、登録手続きに準じて行うものとする。

5 庶務

乳がん医療機関検診一次検診医登録に関する事務は、健対協において行う。

6 その他

この要綱に定めるもののほか、乳がん医療機関検診一次検診医登録に関して必要な事項は、部会等で定める。

[附則 1]

この要綱は、平成12年8月5日から適用する。

この要綱は、平成14年10月から施行し、平成15年度の事業から適用する。

(別 記)

鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準

- 1 登録資格は医師とし、専攻科は問わない。
- 2 乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に12点以上取得していること。ただし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会には、必ず1回は出席していること。
- 3 新規登録の場合は、次のいずれかを受講すること。
 - (1) 原則として健対協の主催する一次検診医講習会を受講すること。なお、この講習会は、乳がん及び乳がん検診についての一般的知識、特に視診及び触診に重点をおいた診断法、触診の実技の習得を目的とし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会に引き続いて年1回開催するものである。
 - (2) (1)の講習会を受ける事ができなかった場合は、部会等の長が指名した部会及び委員会の医師系委員から(1)に準じた指導を受けること。この場合、指導した医師が、一次検診医として十分能力が得られたと認定した時点をもって終了する。
- 4 上記2、3にかかわらず、次に該当する場合は、登録できものとする。
 - (1) 日本乳癌学会認定の専門医、認定医
 - (2) 日本乳癌学会又は日本乳癌検診学会の役員
- 5 平成14年度に乳がん医療機関検診一次検診医に登録されており、同年度内に更新手続を行う医師については、乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去2年間に8点以上取得し、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会に出席していれば、更新を認めるものとする。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会	全県1回/年	5点
日本乳癌学会	1回/年	5点
日本乳癌検診学会	1回/年	5点
各地区症例検討会	東部・中部・西部各1回/年	3点
中国・四国乳腺研究会	1回/年	3点
山陰乳癌研究会	1回/年	3点
鳥取県乳腺疾患研究会	1回/年	3点
その他乳癌関連学会、研究会等		3点

あ と が き

検診事業の運営上、重要な一面を占める精度管理については、成人病検診管理指導協議会の各部会と鳥取県健康対策協議会の各検診対策専門委員会との合同会議で検討を重ね、会長の言葉にもあるように一層の向上に努めております。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書の第8報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、がん検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々御助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。平成13年度は新しくアレルギー性疾患対策専門委員会を設置しております。

最後に、発刊に際し、今年度は県医師会理事宮崎博実先生には大変な御苦勞をおかけしました。また、県医師会事務局の岩垣陽子さん、小林昭弘さんには何時もの様に強力なお手伝を頂きました。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理 事 岡 本 公 男